

# 資料編 ー環境意識調査（アンケート調査）ー

## 1. アンケート調査概要

「尾道市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に向けた検討材料とするため、市民と事業者を対象とした「尾道市の地球温暖化に関する市民・事業者環境意識調査」を実施しました。

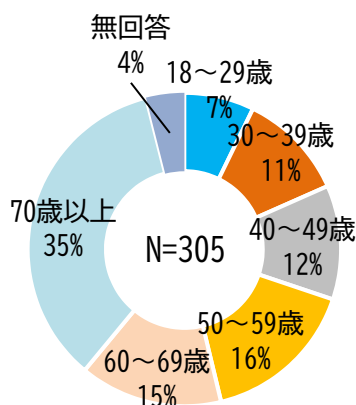
付表 1-1 「尾道市の地球温暖化に関する市民・事業者環境意識調査」の概要

| 項目   | 市民   | 事業者  |
|------|--|--|
| 調査対象 | 市内に在住する満 18 歳以上の市民<br>(1,000 人)                                | 市内の事業所<br>(400 事業所)  |
| 母集団  | 113,625 人 <sup>注</sup><br>(2022 (令和 4) 年 8 月末現在)               | 6,954 事業所<br>(令和 3 年経済センサス)                                  |
| 実施方法 | 郵送配布・郵送回収による郵便調査及び WEB 調査                                      |  |
| 調査期間 | 2022 年 9 月 7 日 (水) ~ 9 月 30 日 (金) ※24 日間                       |  |
| 回収率  | 30.5%<br>(305 回答 / 1,000 配布)<br>うち、郵便回答 272 回答<br>WEB 回答 33 回答 | 33.5%<br>(134 回答 / 400 配布)<br>うち、郵便回答 108 回答<br>WEB 回答 26 回答 |

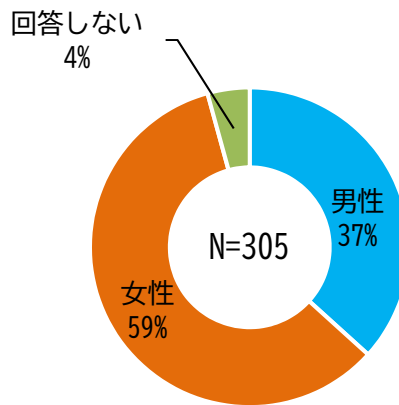
注) 尾道市住民基本台帳（尾道市の人口（地区別明細及び 5 歳階級別））より、18 歳以上の人口を合算し算出した人数です。ただし、18 歳～19 歳の人口については、15 歳～19 歳の 5 歳階級別人口に 2/5 を乗じることにより算出しています。

## 2. アンケート調査結果（市民向けアンケート）

### 2-1 回答者属性

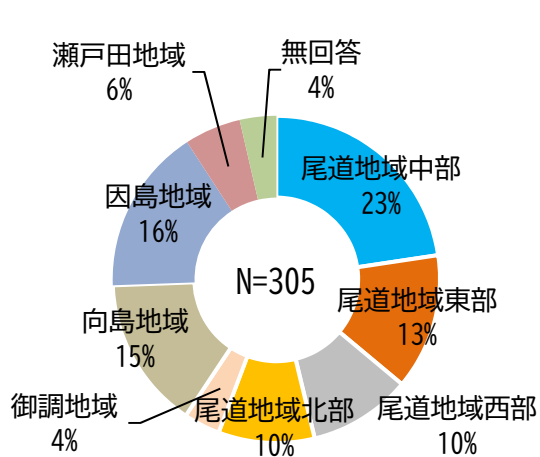


付図 2-1 年代

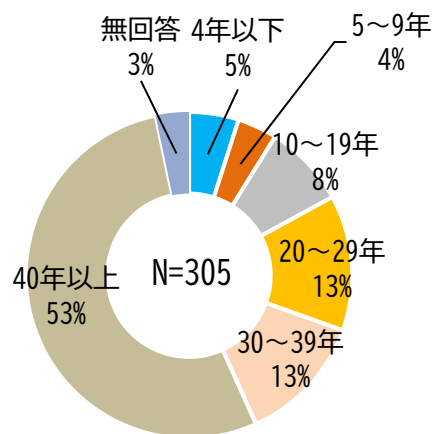


付図 2-2 性別

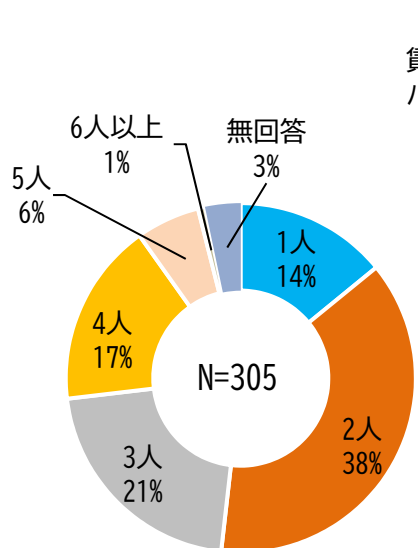
|     |                  |
|-----|------------------|
| 第1章 | 計画の基本的事項         |
| 第2章 | 尾道市の概況と排出量の現状    |
| 第3章 | 総排出量・吸収量の将来推計    |
| 第4章 | 排出量の削減目標         |
| 第5章 | 排出削減に関する取組       |
| 第6章 | 計画の推進及び進捗管理      |
| 資料編 | (アンケート調査) 環境意識調査 |



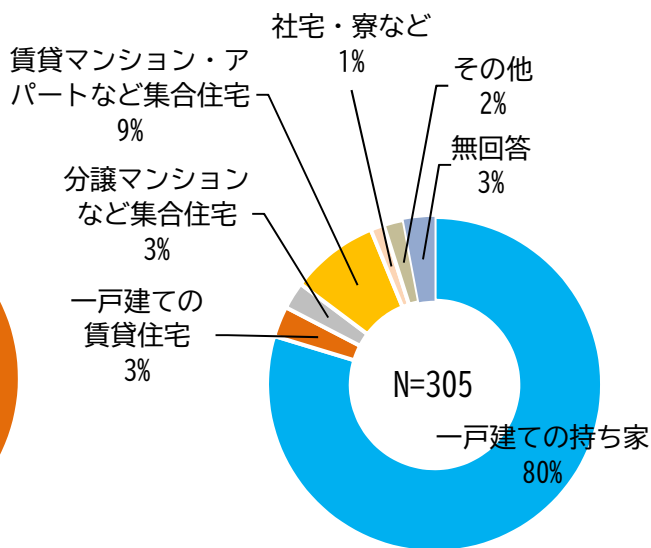
付図 2-3 居住地区



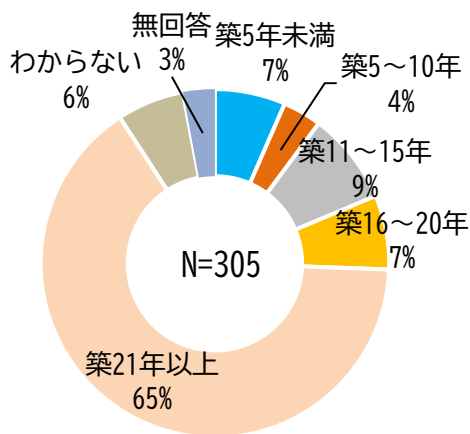
付図 2-4 居住年数



付図 2-5 同居世帯人数



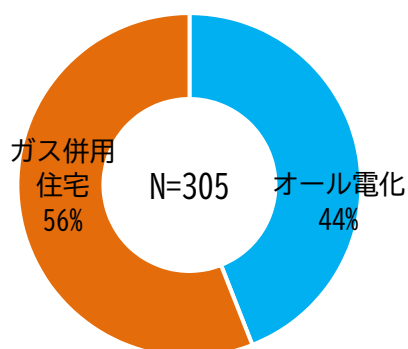
付図 2-6 居住形態



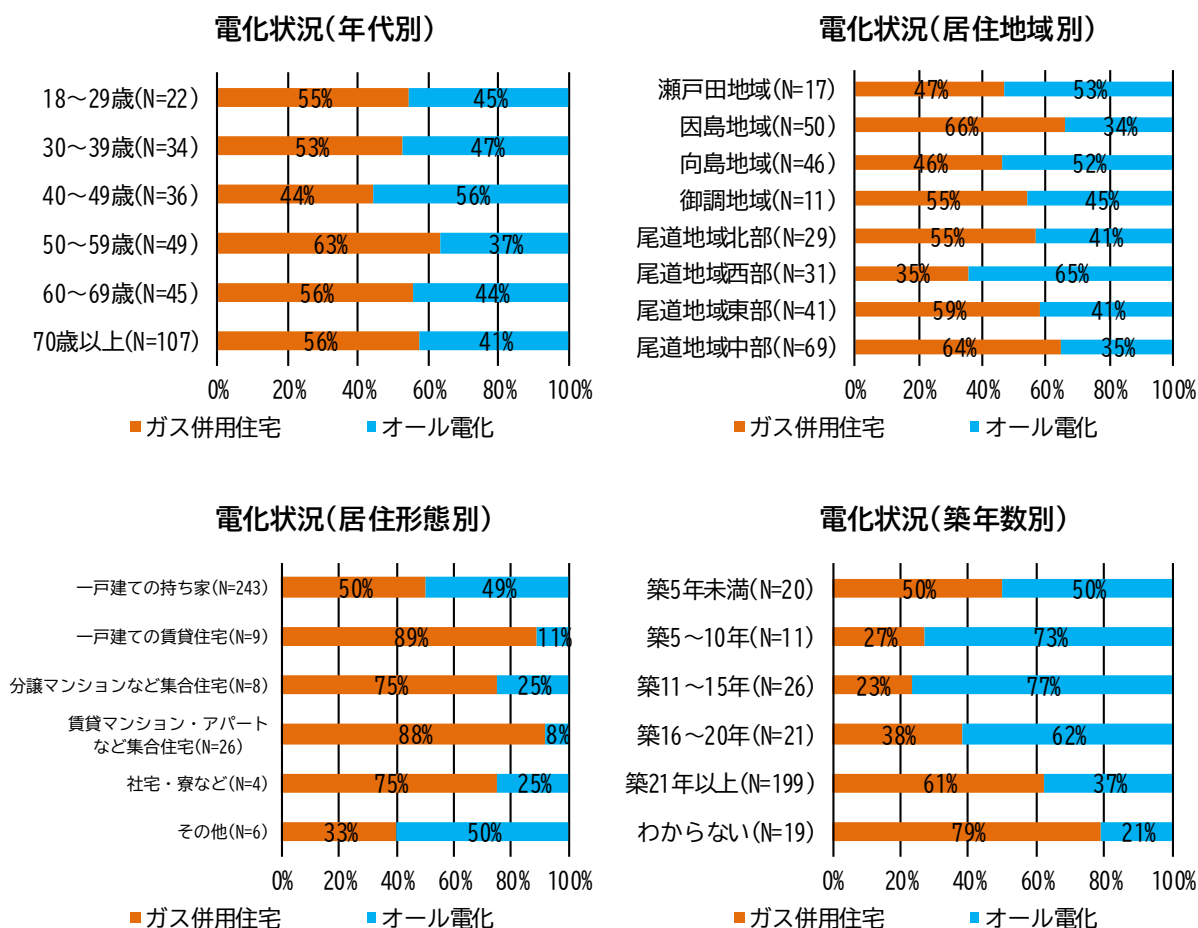
付図 2-7 住居の築年数

## 2-2 電化状況

問 住居の電化状況を教えてください。



付図 2-8(1) 住居の電化状況（市民／全体）



付図 2-8(2) 住居の電化状況（市民／年代別、居住地域別、居住形態別、築年数別）

第1章

計画の基本的事項

第2章

尾道市の概況と排出量の現状

第3章

総排出量の将来推計・吸収量の将来推計

第4章

排出量の削減目標

第5章

排出削減に関する取組

第6章

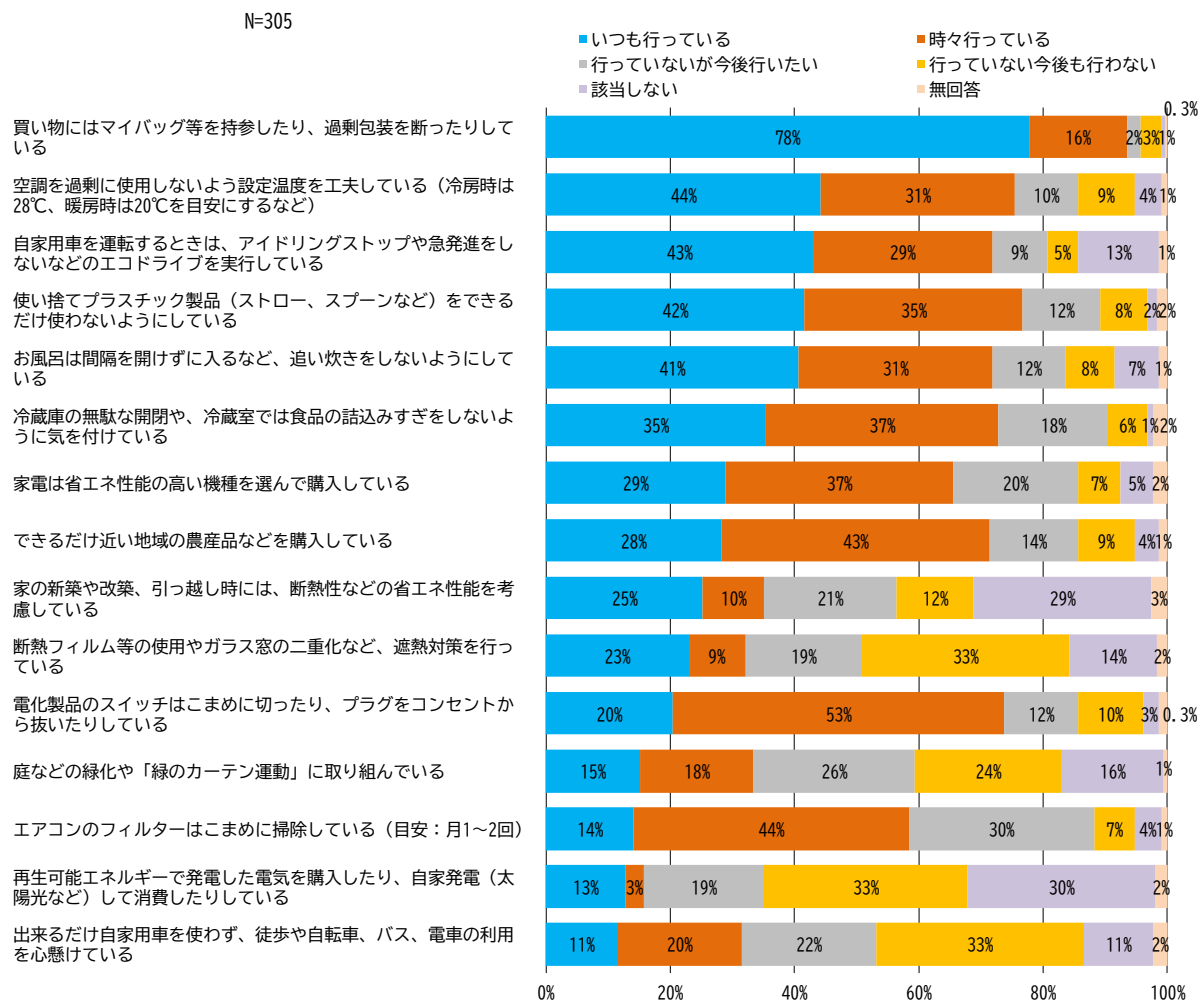
計画の推進及び進捗管理

資料編

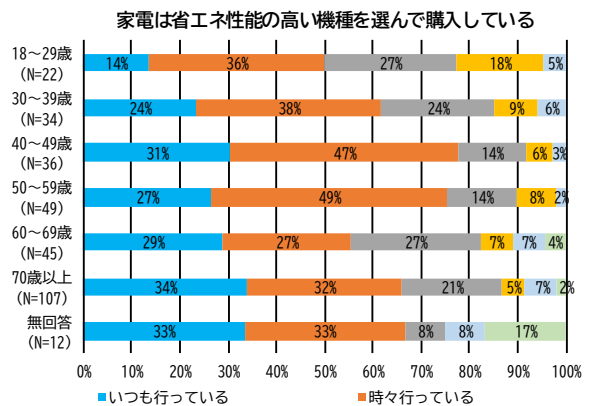
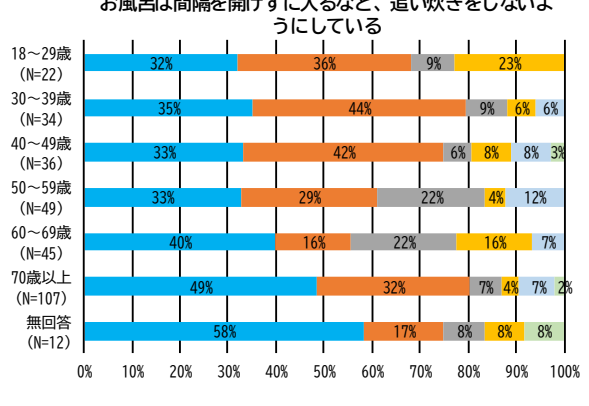
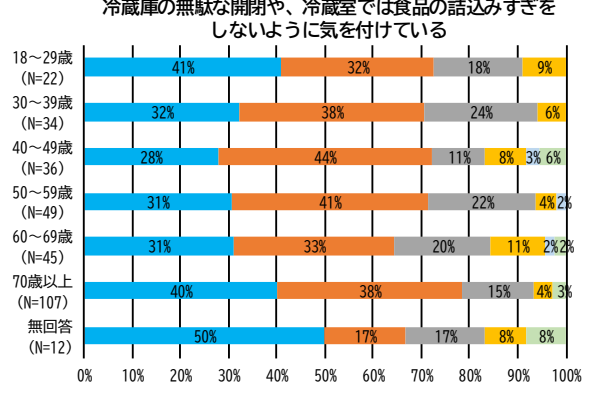
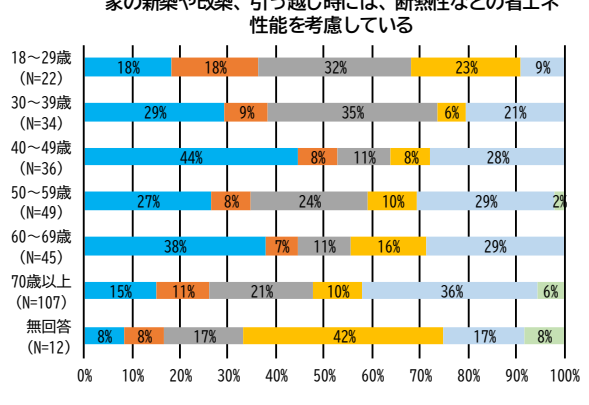
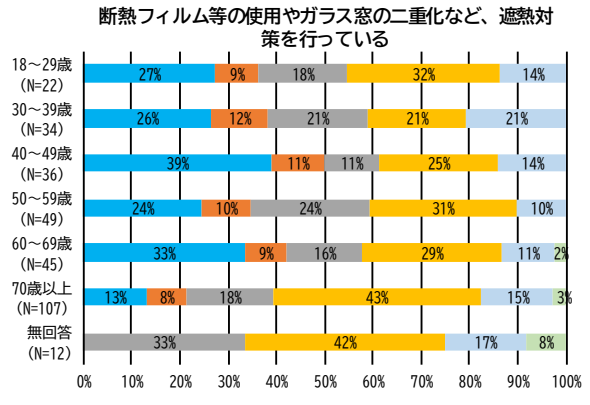
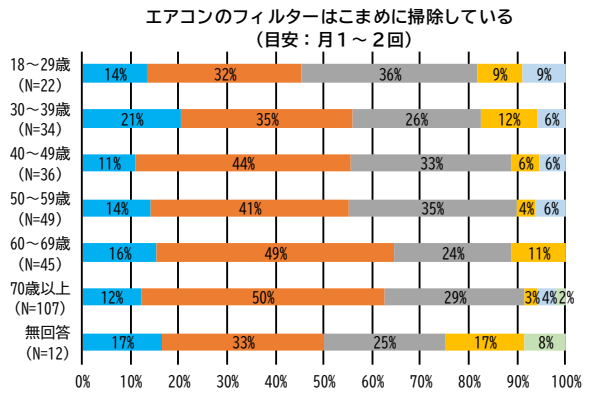
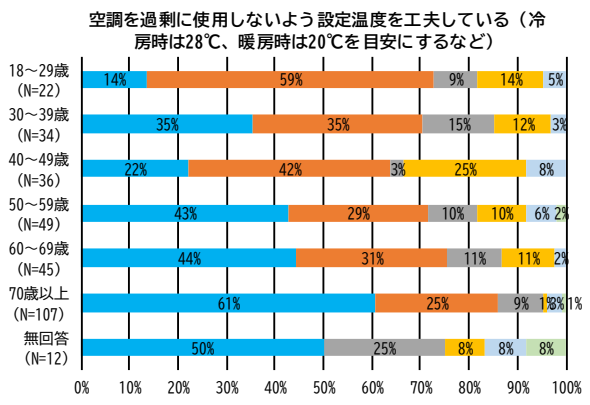
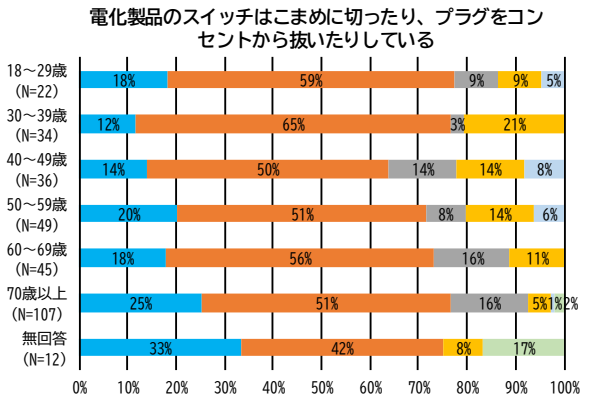
アンケート調査  
環境意識調査

## 2-3 環境に配慮した行動

問 尾道市では環境に配慮したライフスタイルの実践や定着を進めています。あなたが、地球温暖化対策として実施している日々の行動や取組はありますか。各項目ごとに最も近いものを1つ選んでください。



付図 2-9(1) 環境に配慮した行動（市民／全体）



■いつも行っている ■時々行っている ■行っていないが今後行いたい ■行っていない・今後も行わない ■該当しない ■無回答

付図 2-9(2) 環境に配慮した行動 (市民/年代別)

第1章

計画の基本的事項

第2章

尾道市の概況と排出量の現状

第3章

総排出量・吸収量の将来推計

第4章

排出量の削減目標

第5章

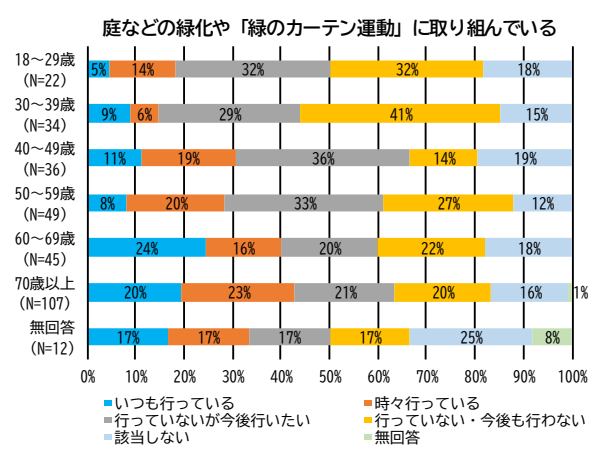
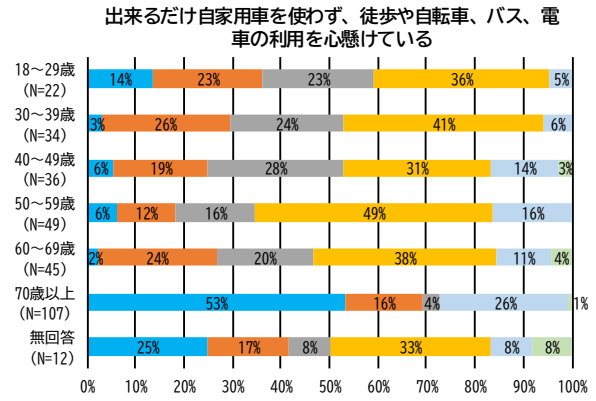
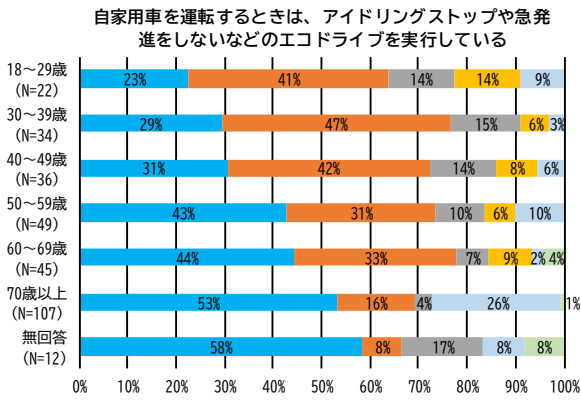
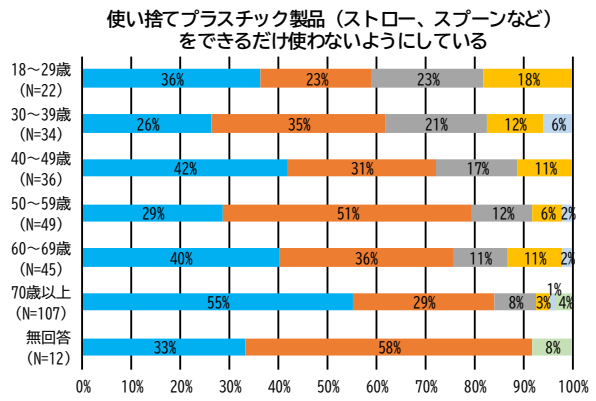
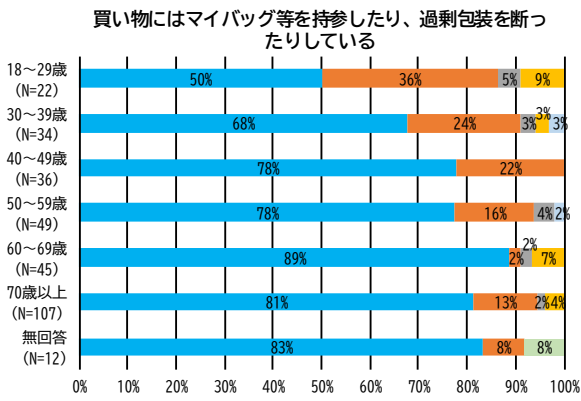
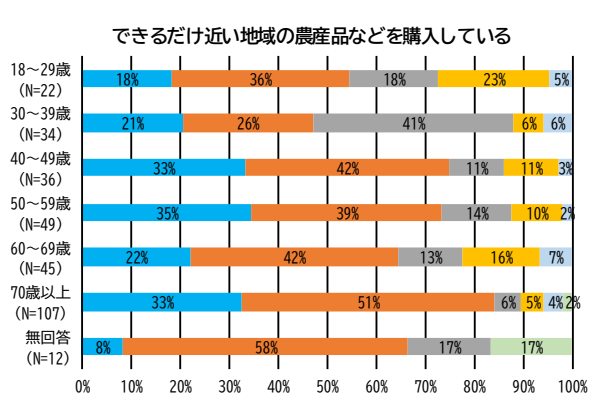
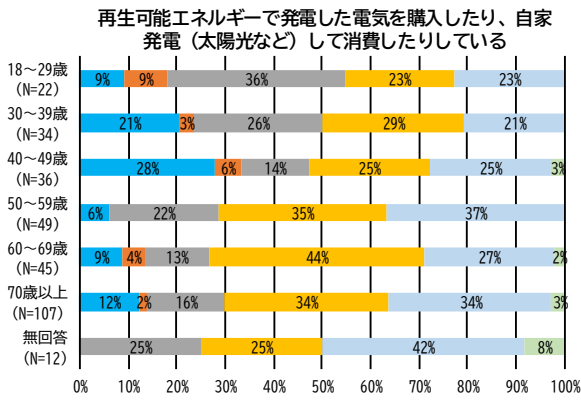
排出削減に関する取組

第6章

計画の推進及び進捗管理

資料編

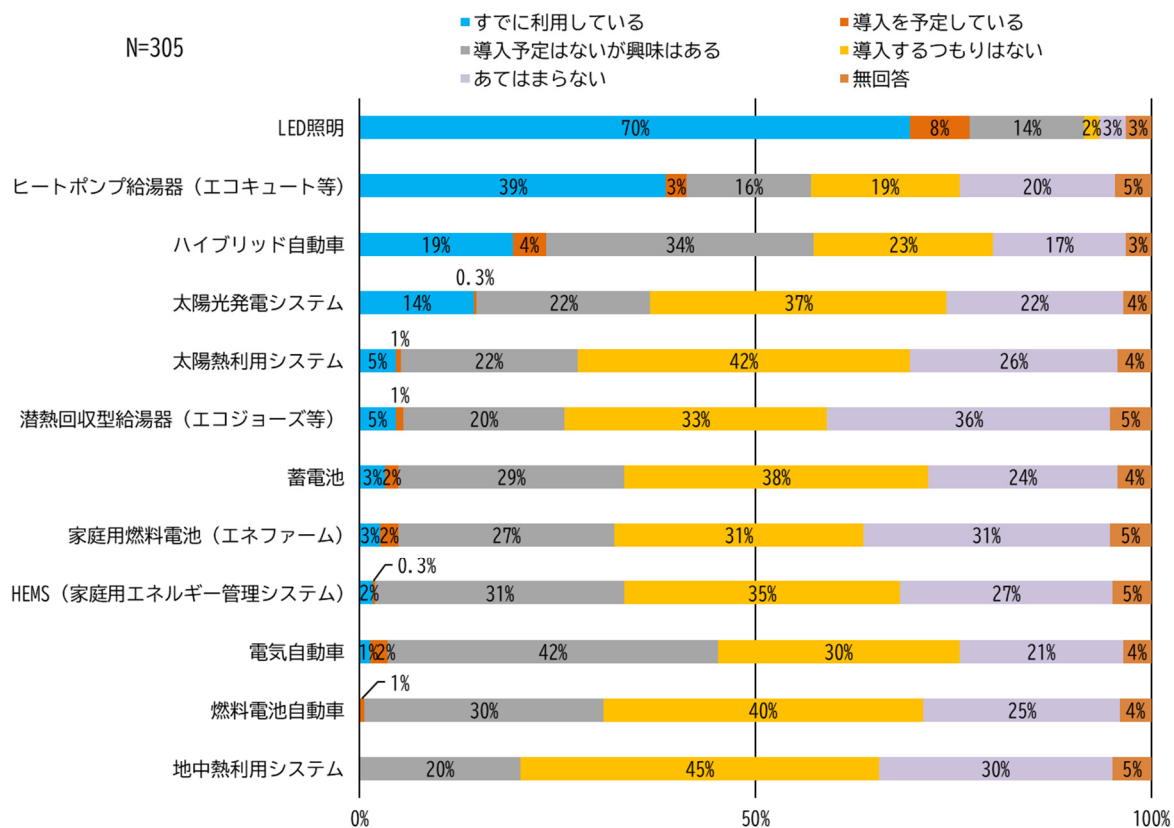
(アンケート調査)環境意識調査



付図 2-9(3) 環境に配慮した行動（市民／年代別）

## 2-4 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況

問 あなたの家庭では、省エネルギーや再生可能エネルギーに関連する機器を使用していますか？利用状況に最も近いものを各機器ごとに1つお選びください。



付図 2-10(1) 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況（市民／全体）

第1章

計画の基本的事項

第2章

尾道市の概況と排出量の現状

第3章

総排出量・吸収量の将来推計

第4章

排出量の削減目標

第5章

排出削減に関する取組

第6章

計画の推進及び進捗管理

資料編

（アンケート調査）  
環境意識調査

第1章

計画の基本的事項

第2章

尾道市の概況と排出量の現状

第3章

総排出量・吸収量の将来推計

第4章

排出量の削減目標

第5章

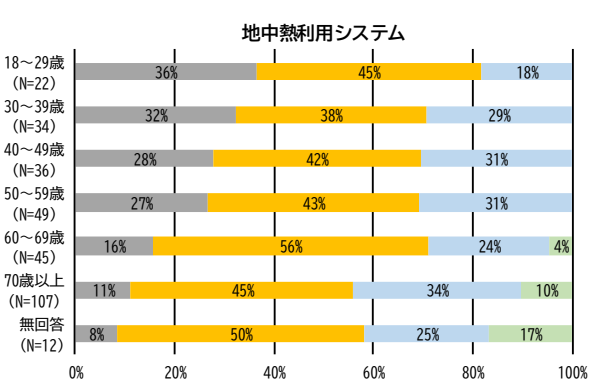
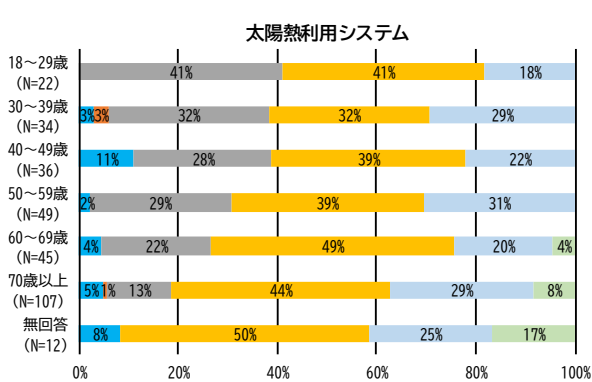
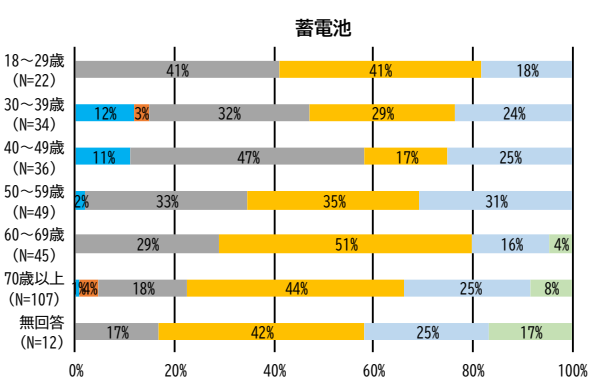
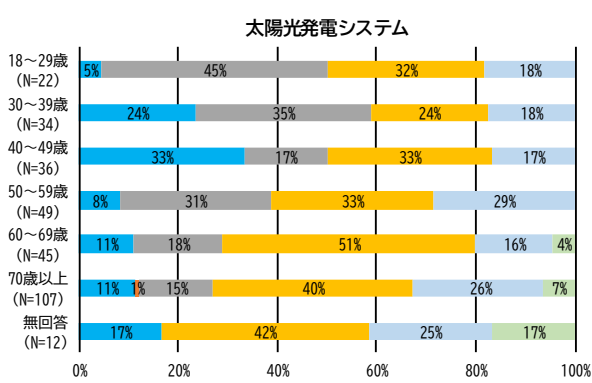
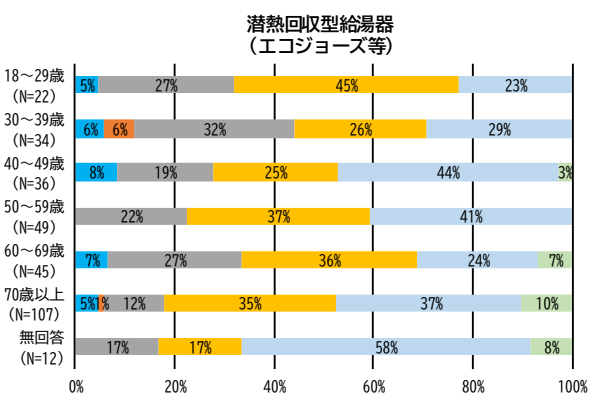
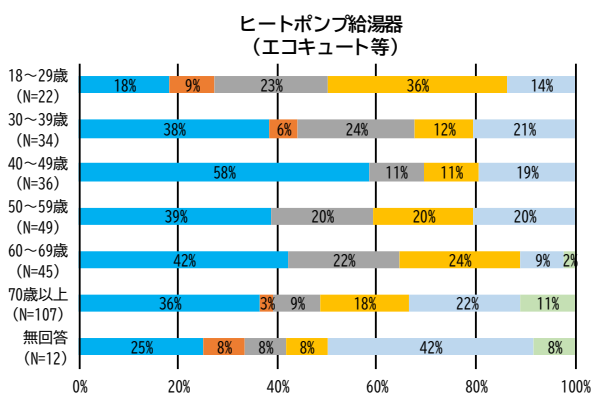
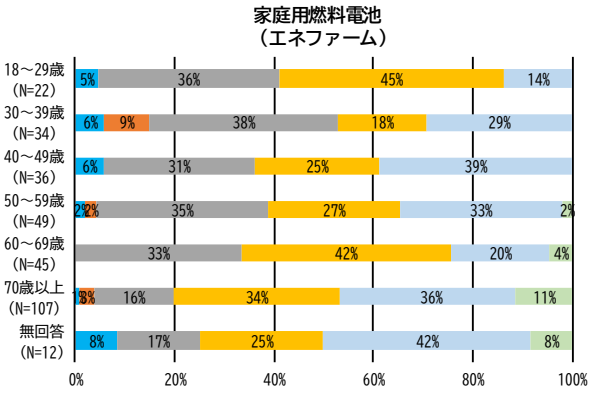
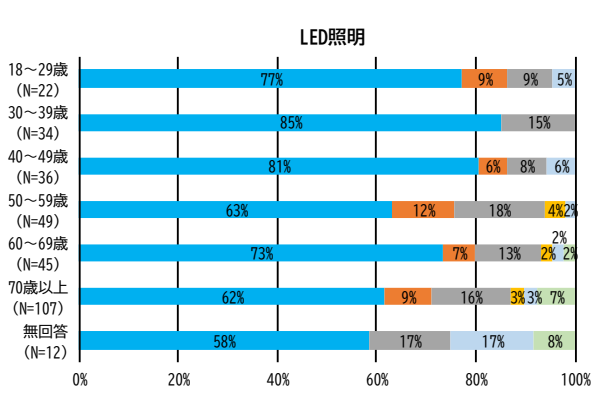
排出削減に関する取組

第6章

計画の推進及び進捗管理

資料編

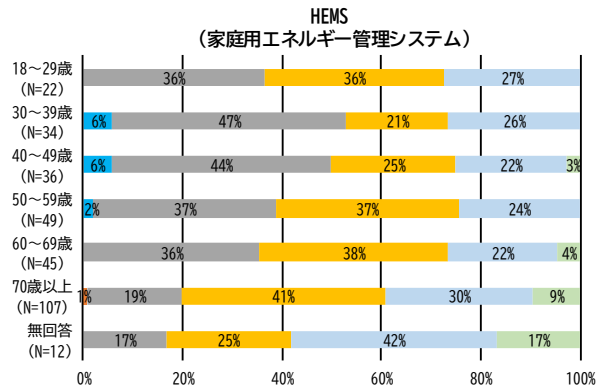
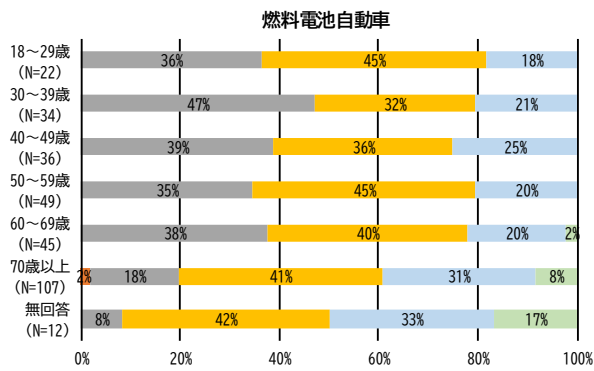
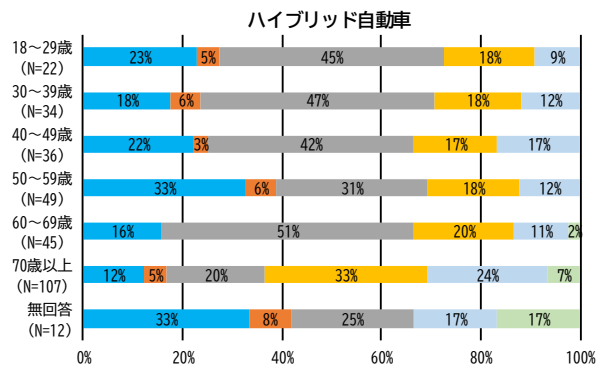
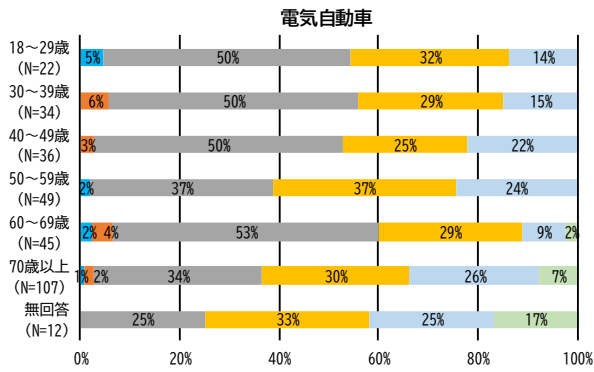
(アンケート調査)環境意識調査



- すでに利用している
- 導入予定はないが興味はある
- 導入を予定している
- 導入するつもりはない
- あてはまらない
- 無回答

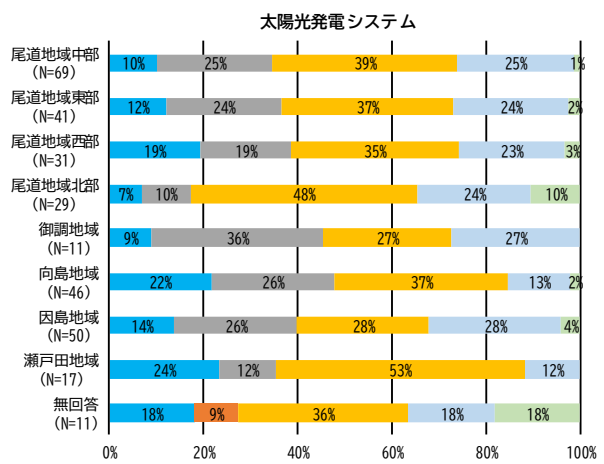
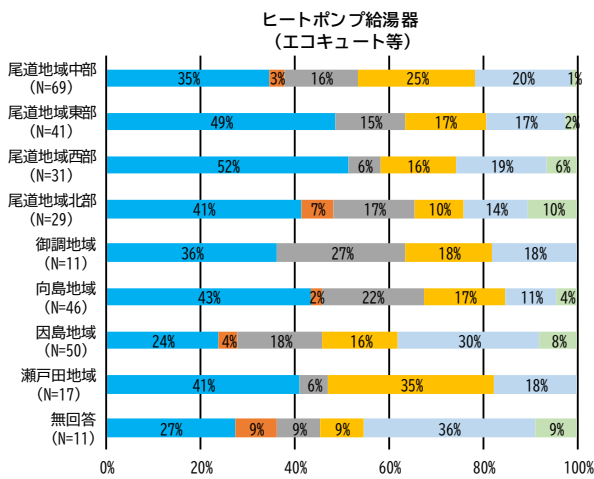
付図 2-10(2) 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況 (市民/年代別)





- すでに利用している
- 導入予定はないが興味はある
- あてはまらない
- 導入を予定している
- 導入するつもりはない
- 無回答

付図 2-10(3) 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況 (市民/年代別)



- すでに利用している
- 導入予定はないが興味はある
- あてはまらない
- 導入を予定している
- 導入するつもりはない
- 無回答

付図 2-10(4) 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況 (市民/居住地域別)

第1章 計画の基本的事項

第2章 尾道市の概況と排出量の現状

第3章 総排出量・吸収量の将来推計

第4章 排出量の削減目標

第5章 排出削減に関する取組

第6章 計画の推進及び進捗管理

資料編 (アンケート調査) 環境意識調査

第1章

計画の基本的事項

第2章

尾道市の概況と排出量の現状

第3章

総排出量・吸収量の将来推計

第4章

排出量の削減目標

第5章

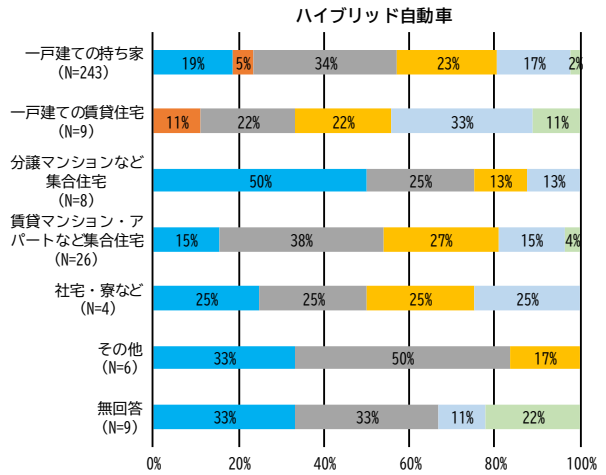
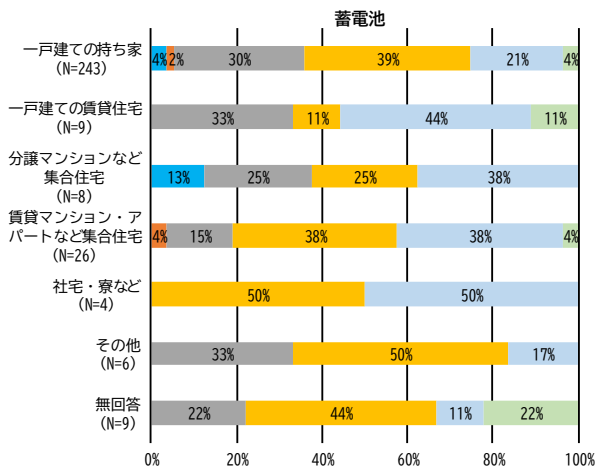
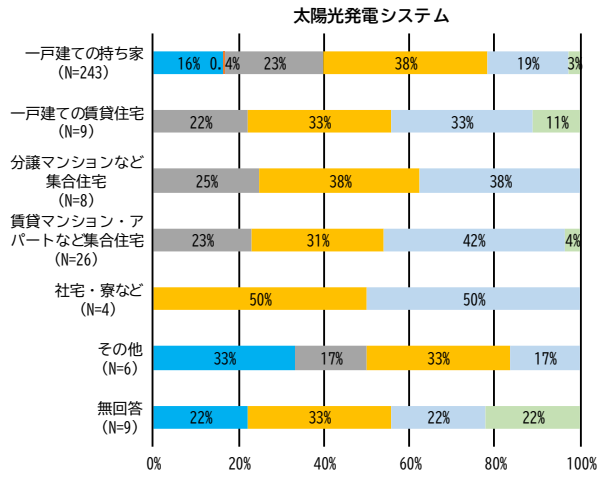
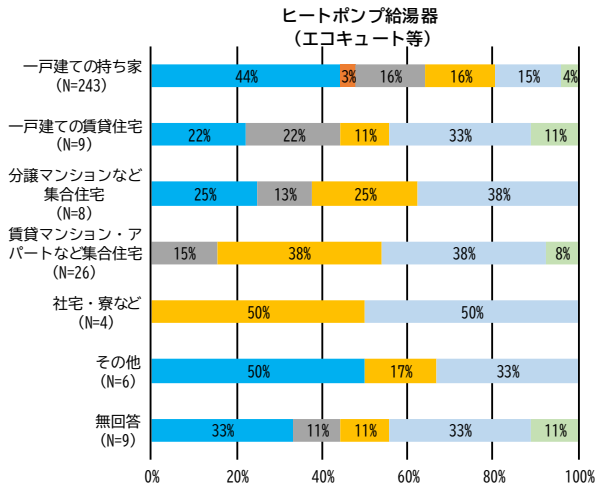
排出削減に関する取組

第6章

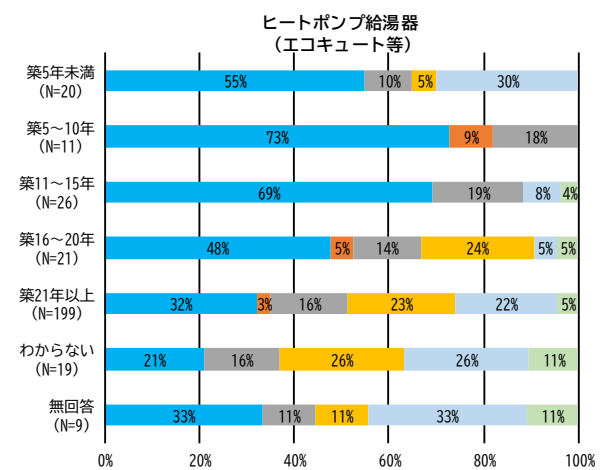
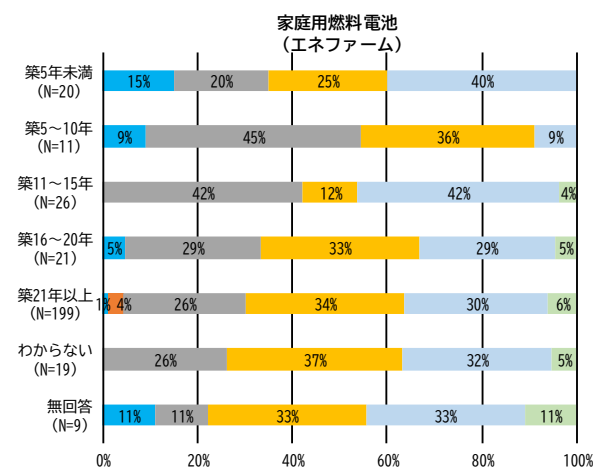
計画の推進及び進捗管理

資料編

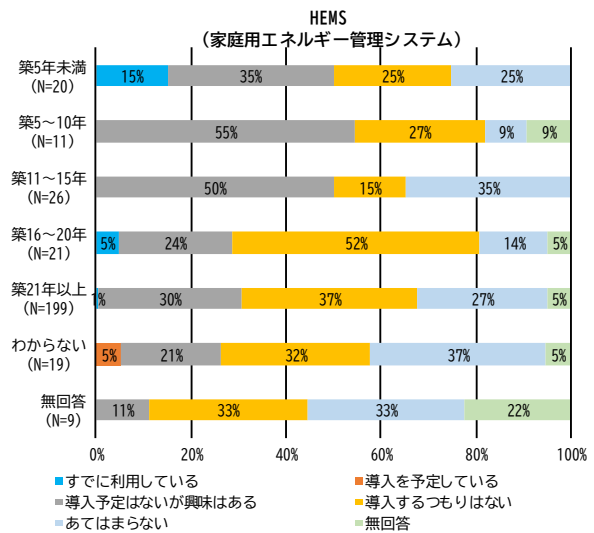
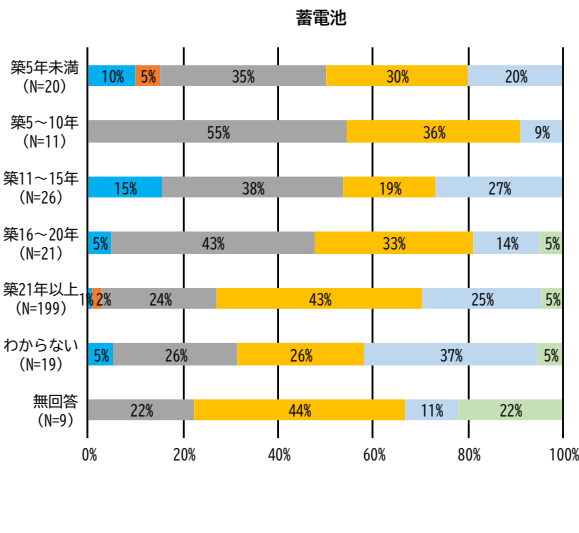
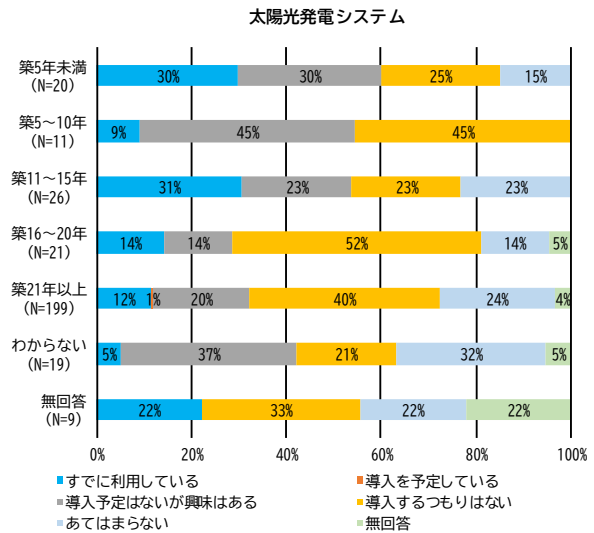
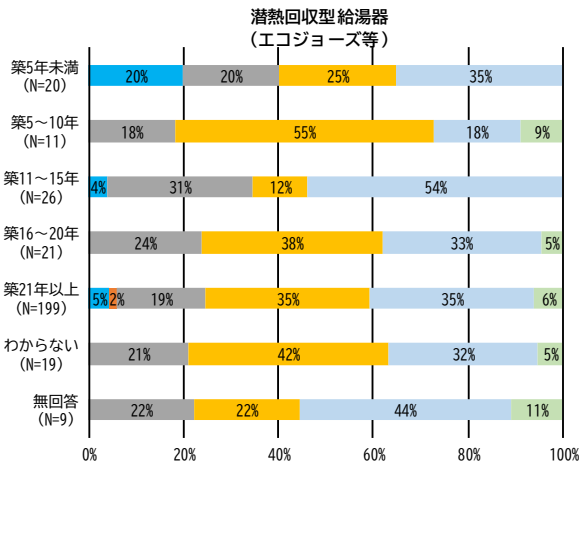
(アンケート調査)環境意識調査



付図 2-10(5) 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況 (市民/住居形態別)



付図 2-10(6) 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況 (市民/築年数別)



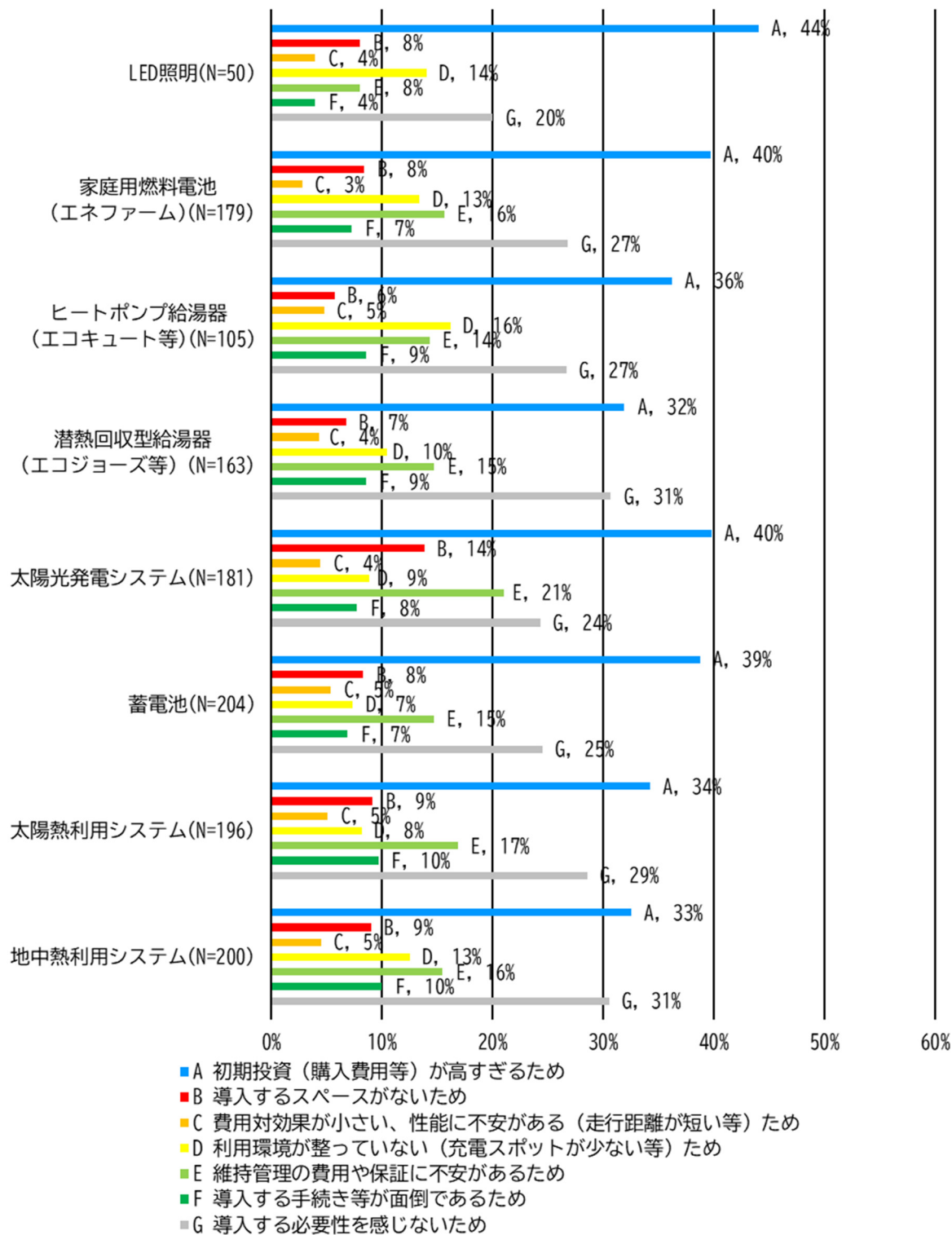
付図 2-10(7) 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況 (市民/築年数別)

問 先ほどの間で選択した、「すでに利用している」または「導入を予定している」機器の出力・容量等をわかる範囲で記入してください。

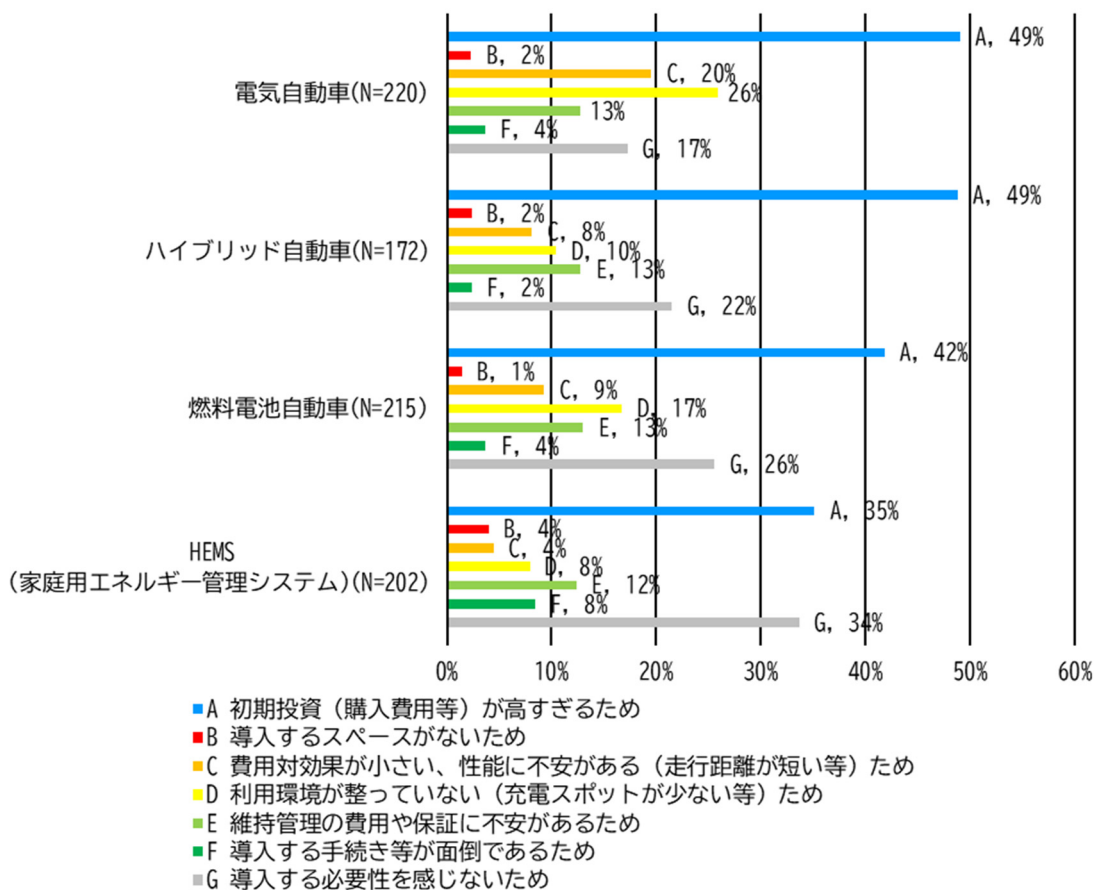
付表 2-1 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況

|     | LED 照明の使用率 (N=160) | 太陽光発電システムの発電量 (N=25) | 蓄電池の容量 (N=5) |
|-----|--------------------|----------------------|--------------|
| 平均値 | 照明の約 65%           | 34kW                 | 5kWh         |
| 最小値 | 照明の約 2%            | 3kW                  | 3kWh         |
| 最大値 | 照明の約 100%          | 300kW                | 8kWh         |

問 先ほどの問で選択した、「導入予定はないが興味はある」または「導入するつもりはない」と回答された方に質問です。各機器について、その理由として当てはまるものをいくつかも選んでください。



付図 2-11(1) 省エネ機器・再エネ機器の導入をしない理由（市民／機器種別）



付図 2-11(2) 省エネ機器・再エネ機器の導入をしない理由（市民／機器種別）

## 2-5 平均的なエネルギー使用量

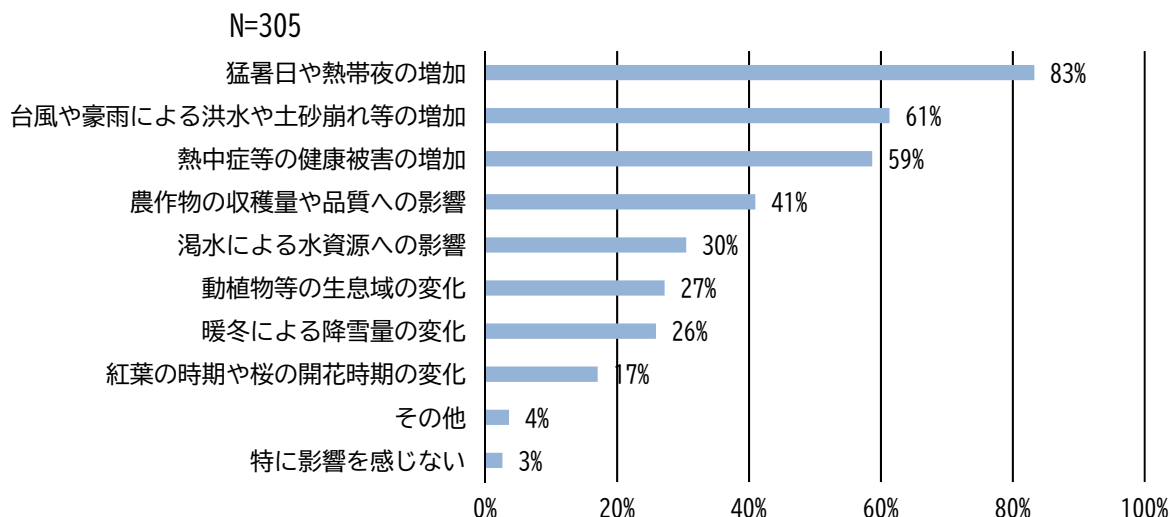
問 あなたの家庭における、1 か月間の平均的なエネルギーの使用量、平均的なエネルギーの支払料金について教えてください。（部分的に空欄があっても構いません）

付表 2-2 1ヶ月の平均的なエネルギー使用量

| エネルギー種   |          | 項目                   | 回答者数   | 回答者全員の1か月あたりの平均値 | 回答者の1か月あたりの平均の最大値 |
|----------|----------|----------------------|--------|------------------|-------------------|
| 住宅       | 電気       | 使用量(kWh)             | N= 137 | 470              | 2,149             |
|          |          | 再エネ自家消費分(%)          | N= 23  | 25               | 90                |
|          |          | 支払い料金(円)             | N= 252 | 14,185           | 66,000            |
|          | LPガス     | 使用量(m <sup>2</sup> ) | N= 57  | 19               | 90                |
|          |          | 使用量(kg)              | N= 14  | 2,079            | 19,164            |
|          |          | 支払い料金(円)             | N= 98  | 5,614            | 90,000            |
|          | 都市ガス     | 使用量(m <sup>2</sup> ) | N= 37  | 52               | 1,100             |
| 支払い料金(円) |          | N= 63                | 3,099  | 11,110           |                   |
| 灯油       | 使用量(L)   | N= 63                | 35     | 450              |                   |
|          | 支払い料金(円) | N= 92                | 4,563  | 40,000           |                   |
| バイク等     | ガソリン     | 使用量(L)               | N= 135 | 71               | 860               |
|          |          | 支払い料金(円)             | N= 225 | 10,724           | 60,000            |
|          | 軽油       | 使用量(L)               | N= 22  | 920              | 20,000            |
|          |          | 支払い料金(円)             | N= 32  | 2,089            | 12,750            |

## 2-6 気候変動やその影響として感じているもの

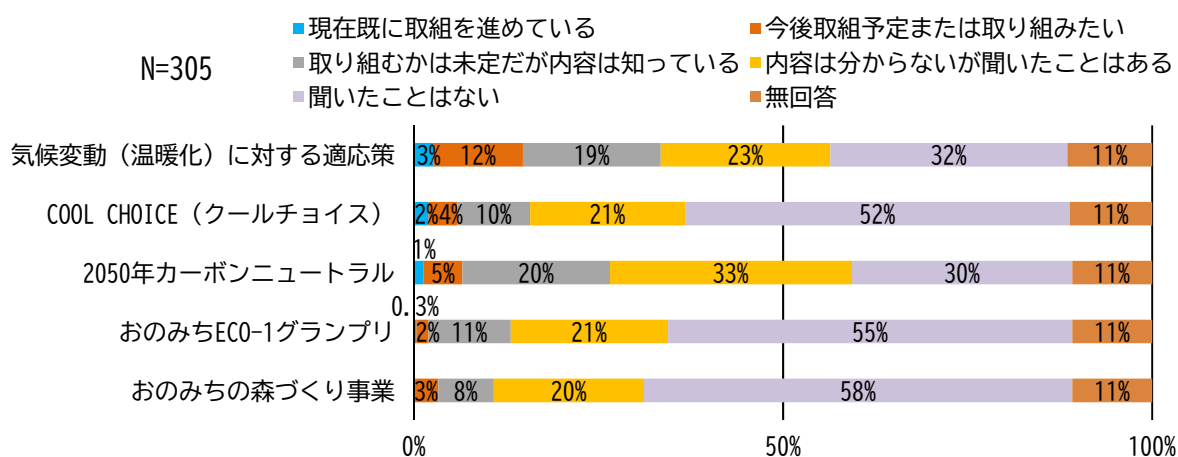
問 現在、温室効果ガスの増加にともなう気候変動（地球温暖化や降雨パターンの変化等）により、様々な影響が出てきています。あなたやあなたの家庭で、気候変動やその影響として感じているものは何ですか？あてはまるものをすべて選択してください。



付図 2-12 気候変動やその影響として感じているもの（市民／全体）

## 2-7 環境に係る取組や事業について

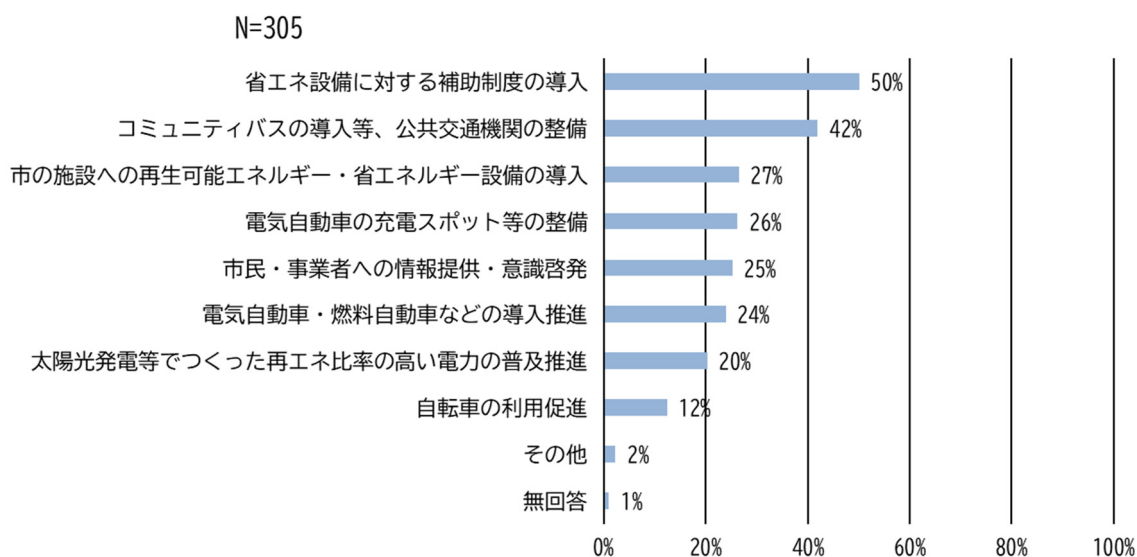
問 近年、尾道市や日本を取り巻く環境情勢は大きく変化しています。以下に示す環境に係る取組や事業について、あなたにあてはまるものをそれぞれ1つ選択してください。



付図 2-13 環境に係る取組や事業について（市民／全体）

## 2-8 尾道市の地球温暖化対策について期待すること、重要だと思うこと

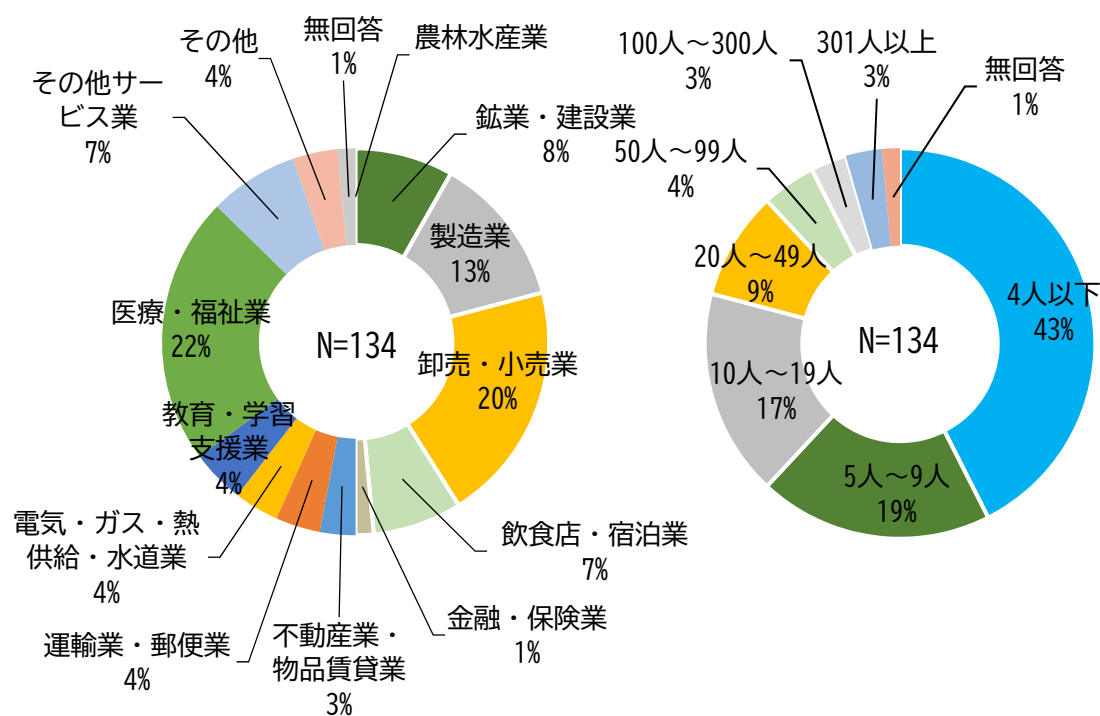
問 尾道市の地球温暖化対策に対して、あなたが期待すること、重要だと思うことは何ですか？あてはまるものを最大3つ選択してください。



付図 2-14 尾道市の地球温暖化対策に対して期待すること、重要だと思うこと（市民／全体）

## 3. アンケート調査結果（事業者向けアンケート）

### 3-1 回答者属性



付図 3-1 業種

付図 3-2 従業員数

第1章 計画の基本的事項

第2章 尾道市の概況と排出量の現状

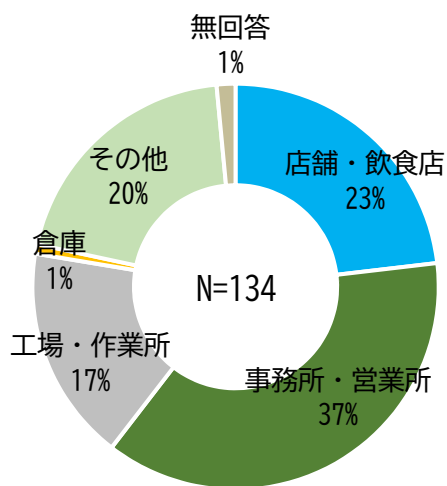
第3章 総排出量の将来推計

第4章 排出量の削減目標

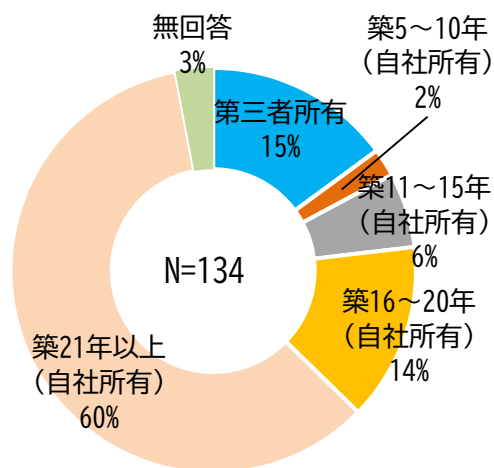
第5章 排出削減に関する取組

第6章 計画の推進及び進捗管理

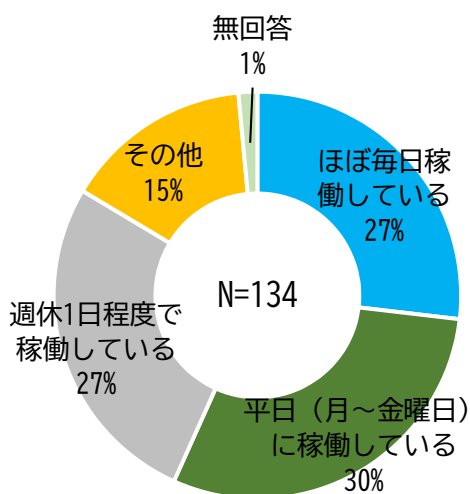
資料編 (アンケート調査) 環境意識調査



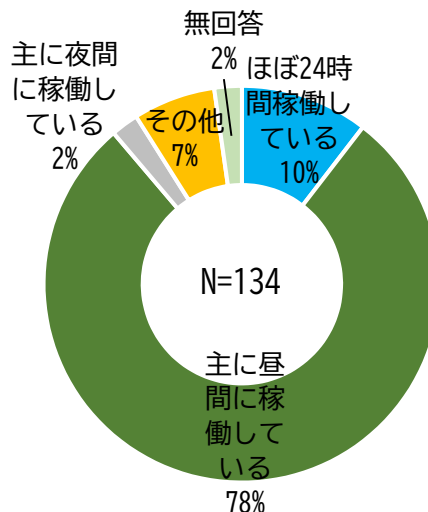
付図 3-3 業務形態



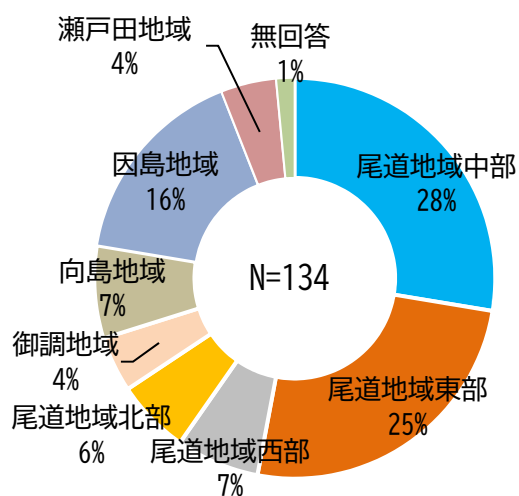
付図 3-4 事務所の築年数



付図 3-5 稼働状況



付図 3-6 稼働時間帯

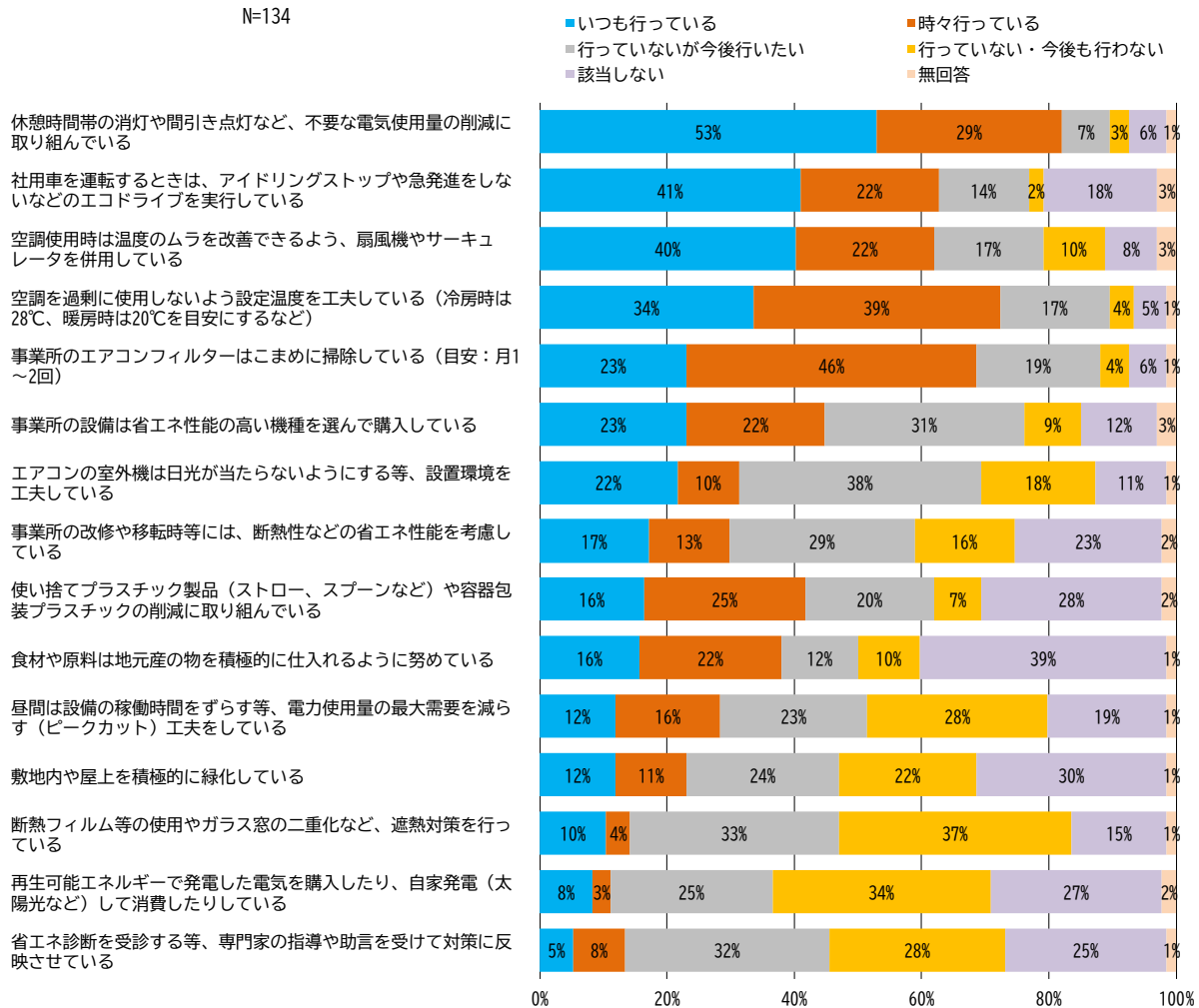


付図 3-7 所在地区



### 3-2 環境に配慮した行動

問 尾道市では環境に配慮したライフスタイルの実践や定着を進めています。貴事業所で、地球温暖化対策として実施している日々の行動や取組はありますか。各項目ごとに最も近いものを1つ選んでください。



付図 3-8(1) 環境に配慮した行動（事業者／全体）

第1章

計画の基本的事項

第2章

尾道市の概況と排出量の現状

第3章

総排出量・吸収量の将来推計

第4章

排出量の削減目標

第5章

排出削減に関する取組

第6章

計画の推進及び進捗管理

資料編

（アンケート調査）  
環境意識調査

第1章

計画の基本的事項

第2章

尾道市の概況と排出量の現状

第3章

総排出量・吸収量の将来推計

第4章

排出量の削減目標

第5章

排出削減に関する取組

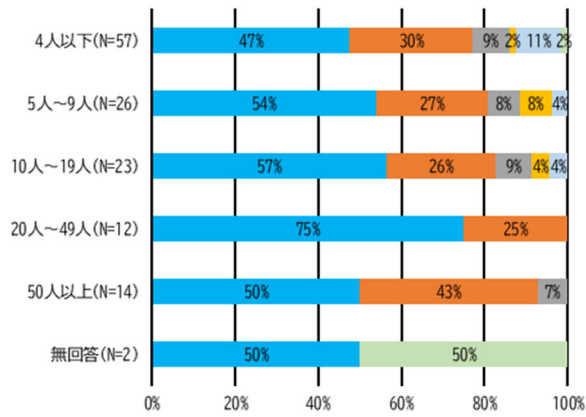
第6章

計画の推進及び進捗管理

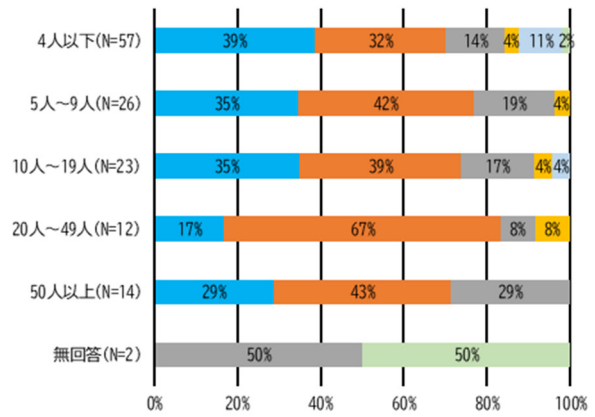
資料編

(アンケート調査)環境意識調査

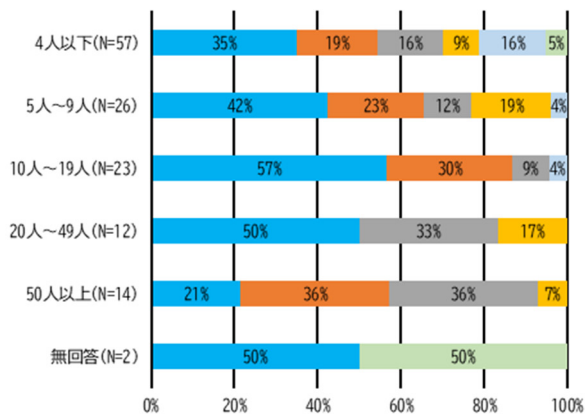
休憩時間帯の消灯や間引き点灯など、不要な電気使用量の削減に取り組んでいる



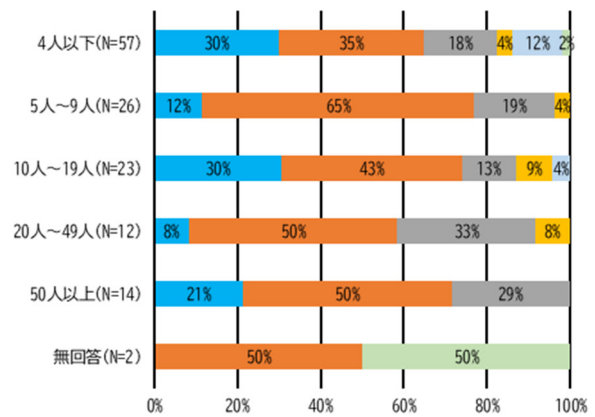
空調を過剰に使用しないよう設定温度を工夫している(冷房時は28℃、暖房時は20℃を目安にするなど)



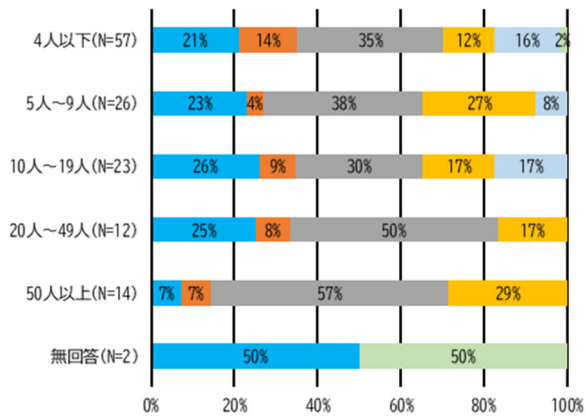
空調使用時は温度のムラを改善できるよう、扇風機やサーキュレータを併用している



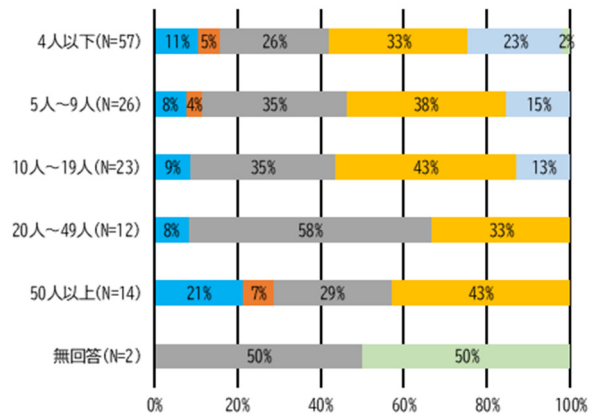
事業所のアコンフィルターはこまめに掃除している(目安:月1~2回)



エアコンの室外機は日光が当たらないようにする等、設置環境を工夫している



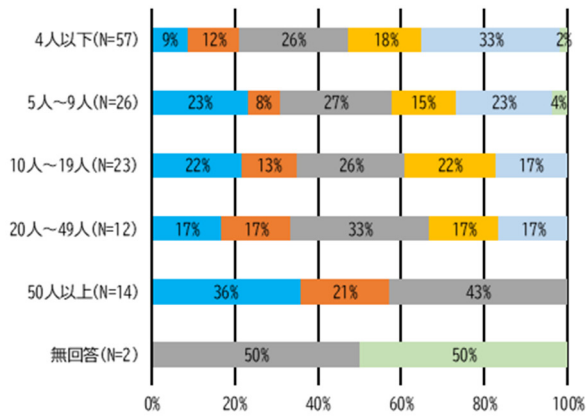
断熱フィルム等の使用やガラス窓の二重化など、遮熱対策を行っている



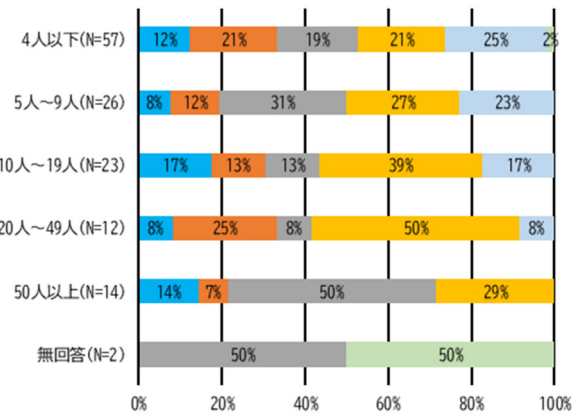
■いつも行っている ■時々行っている  
 ■行っていないが今後行いたい ■行っていない・今後も行わない  
 ■該当しない ■無回答

付図 3-8(2) 環境に配慮した行動(事業者/従業員数別)

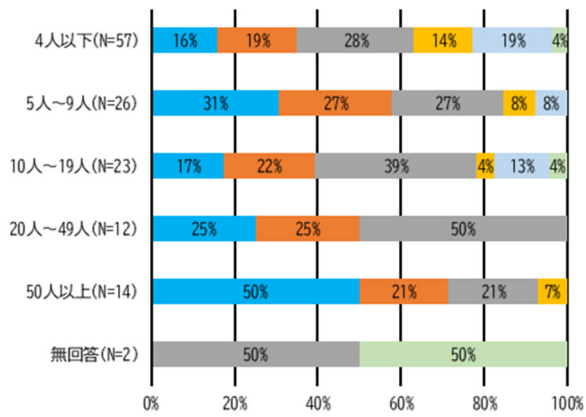
事業所の改修や移転等には、断熱性などの省エネ性能を考慮している



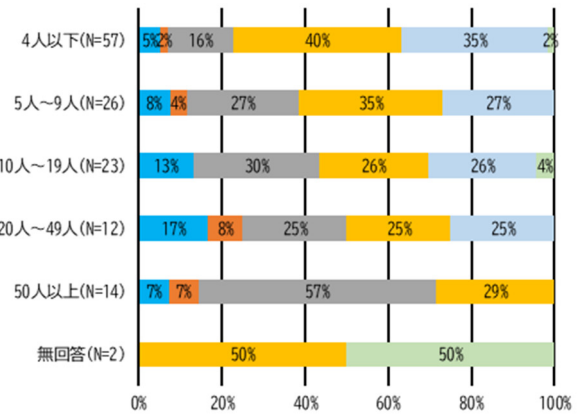
昼間は設備の稼働時間をずらす等、電力使用量の最大需要を減らす(ピークカット)工夫をしている



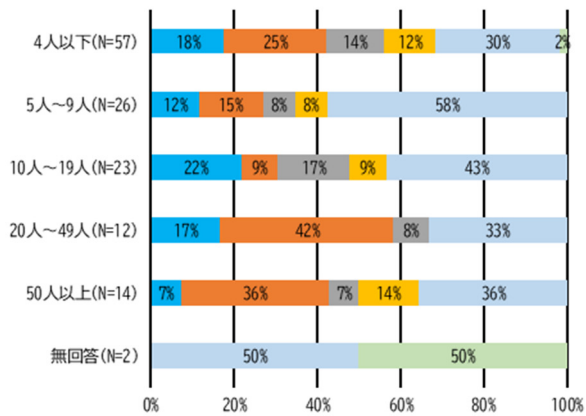
事業所の設備は省エネ性能の高い機種を選んで購入している



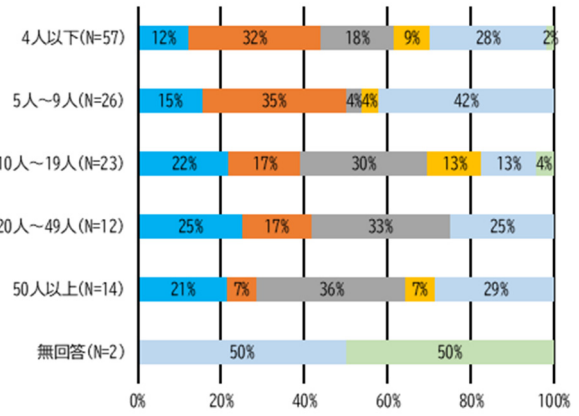
再生可能エネルギーで発電した電気を購入したり、自家発電(太陽光など)して消費したりしている



食材や原料は地元産の物を積極的に仕入れるように努めている



使い捨てプラスチック製品(ストロー、スプーンなど)や容器包装プラスチックの削減に取り組んでいる

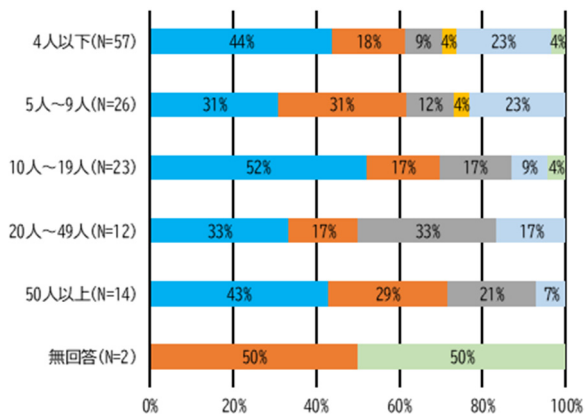


■いつも行っている ■時々行っている ■行っていないが今後行いたい ■行っていない・今後も行わない ■該当しない ■無回答

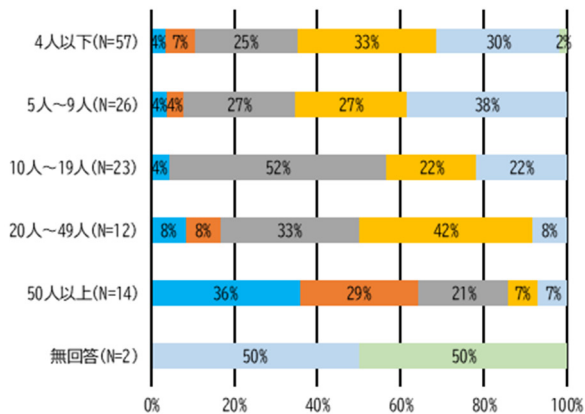
付図 3-8(3) 環境に配慮した行動(事業者/従業員数別)

- 第1章 計画の基本的事項
- 第2章 尾道市の概況と排出量の現状
- 第3章 総排出量・吸収量の将来推計
- 第4章 排出量の削減目標
- 第5章 排出削減に関する取組
- 第6章 計画の推進及び進捗管理
- 資料編 (アンケート調査) 環境意識調査

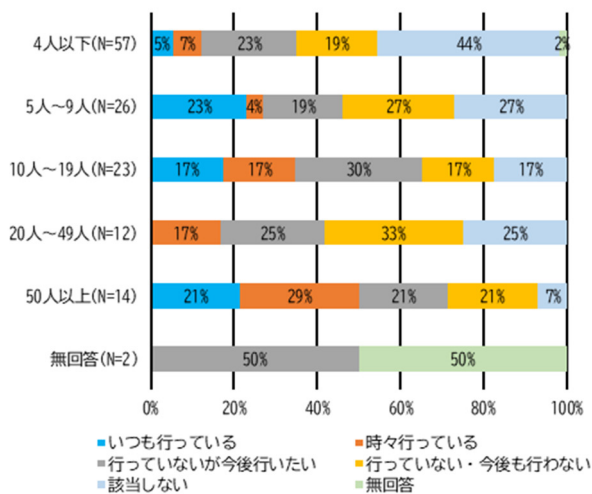
社用車を運転するときは、アイドリングストップや急発進をしないなどのエコドライブを実行している



省エネ診断を受診する等、専門家の指導や助言を受けて対策に反映させている

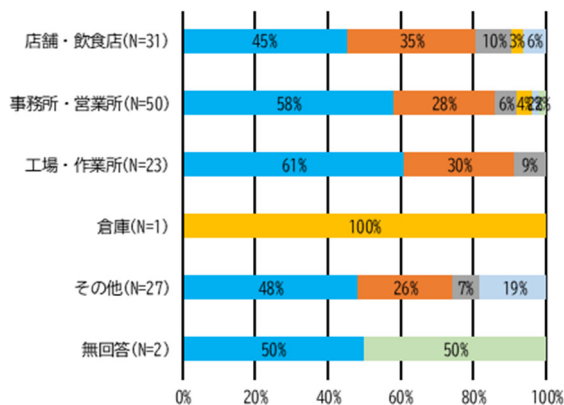


敷地内や屋上を積極的に緑化している

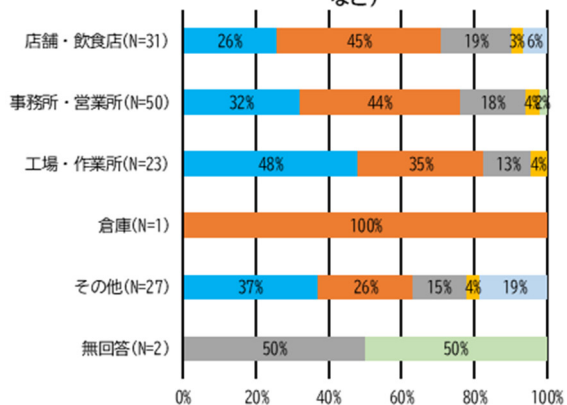


付図 3-8(4) 環境に配慮した行動 (事業者/従業員数別)

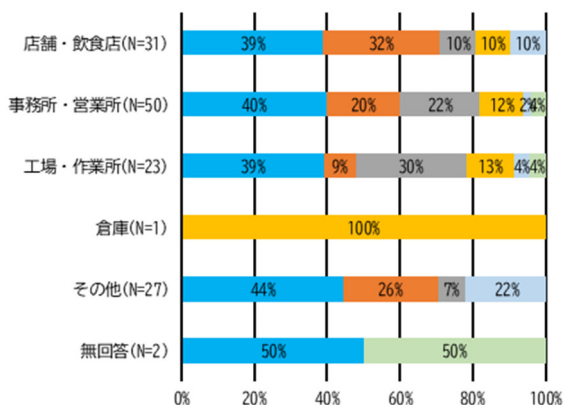
休憩時間帯の消灯や間引き点灯など、不要な電気使用量の削減に取り組んでいる



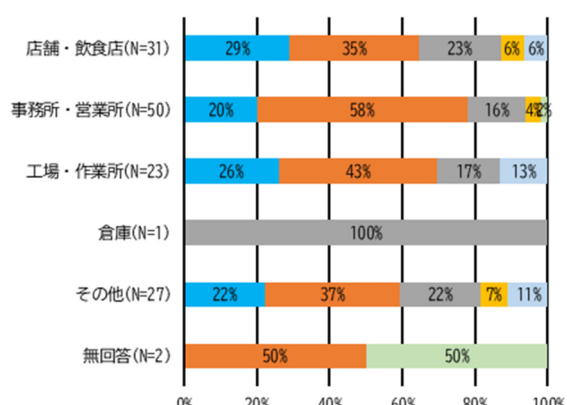
空調を過剰に使用しないよう設定温度を工夫している(冷房時は28℃、暖房時は20℃を目安にするなど)



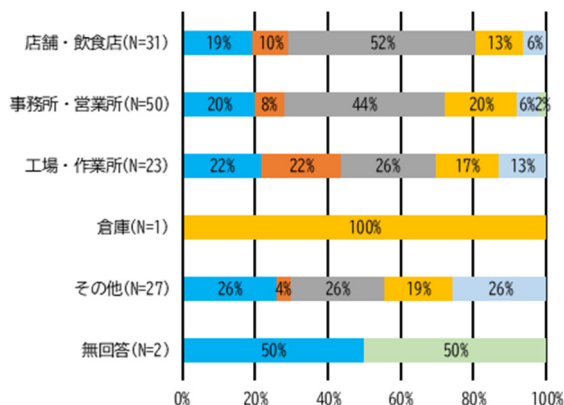
空調使用時は温度のムラを改善できるように、扇風機やサーキュレータを併用している



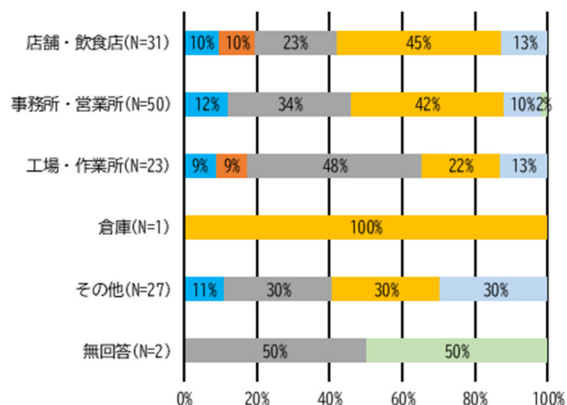
事業所のエアコンフィルターはこまめに掃除している(目安:月1~2回)



エアコンの室外機は日光が当たらないようにする等、設置環境を工夫している



断熱フィルム等の使用やガラス窓の二重化など、遮熱対策を行っている



■いつも行っている ■時々行っている ■行っていないが今後行いたい ■行っていない・今後も行わない ■該当しない ■無回答

付図 3-8(5) 環境に配慮した行動(事業者/業務形態別)

第1章

計画の基本的事項

第2章

尾道市の概況と排出量の現状

第3章

総排出量・吸収量の将来推計

第4章

排出量の削減目標

第5章

排出削減に関する取組

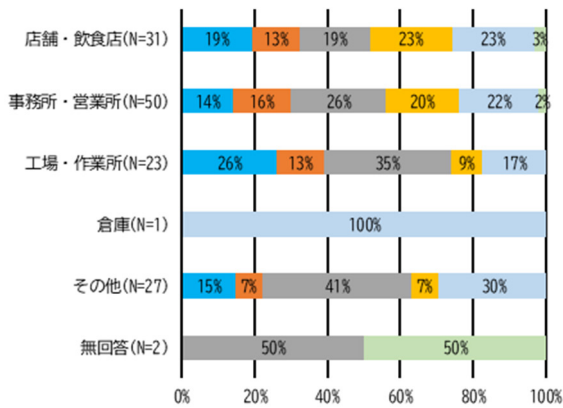
第6章

計画の推進及び進捗管理

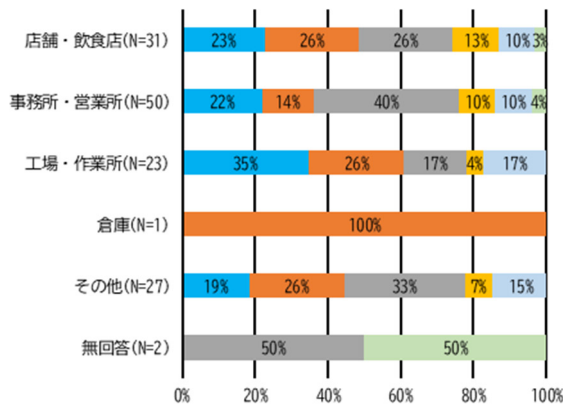
資料編

(アンケート調査)環境意識調査

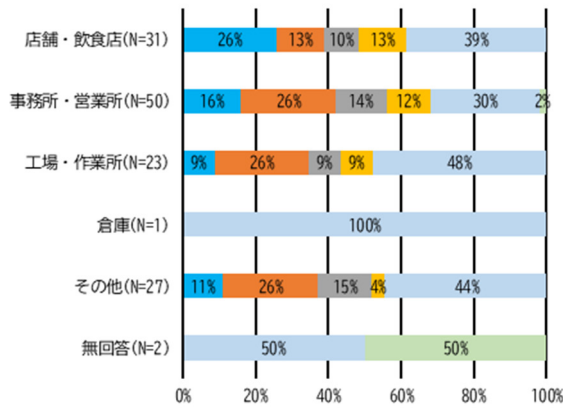
事業所の改修や移転等には、断熱性などの省エネ性能を考慮している



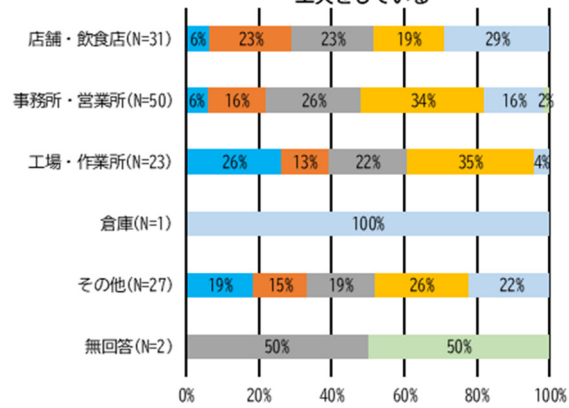
事業所の設備は省エネ性能の高い機種を選んで購入している



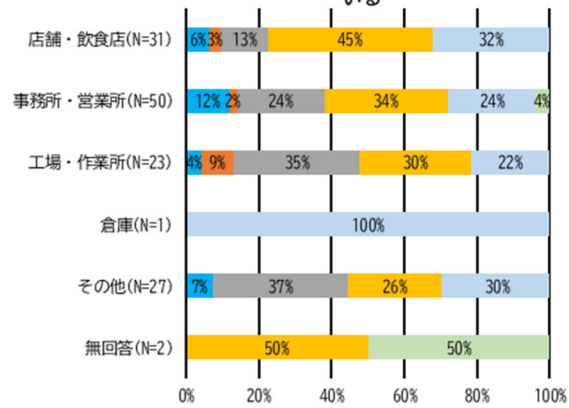
食材や原料は地元産の物を積極的に仕入れるように努めている



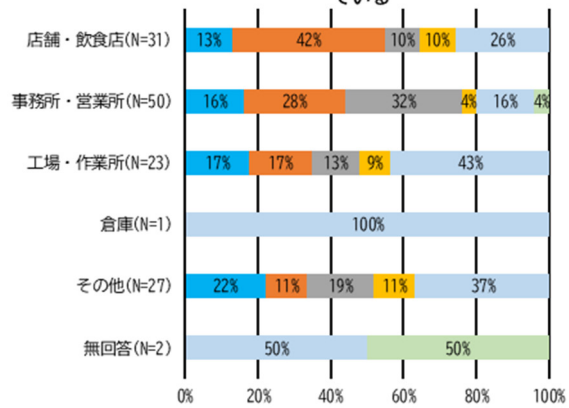
昼間は設備の稼働時間をずらす等、電力使用量の最大需要を減らす(ピークカット)工夫をしている



再生可能エネルギーで発電した電気を購入したり、自家発電(太陽光など)して消費したりしている

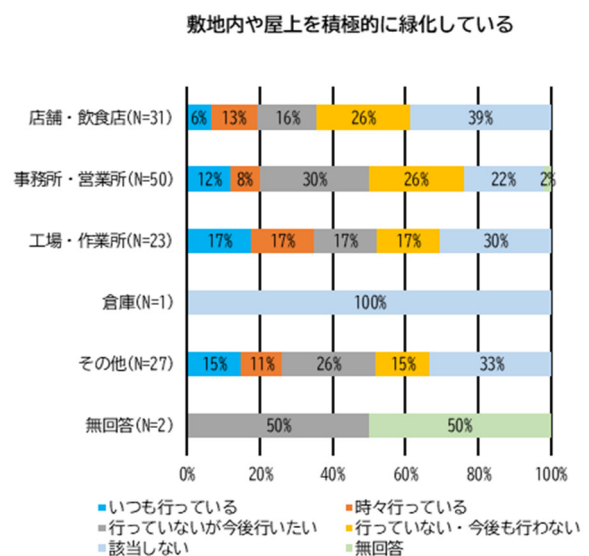
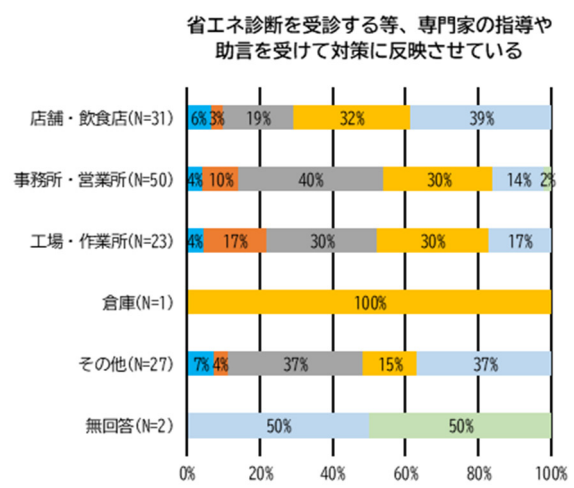
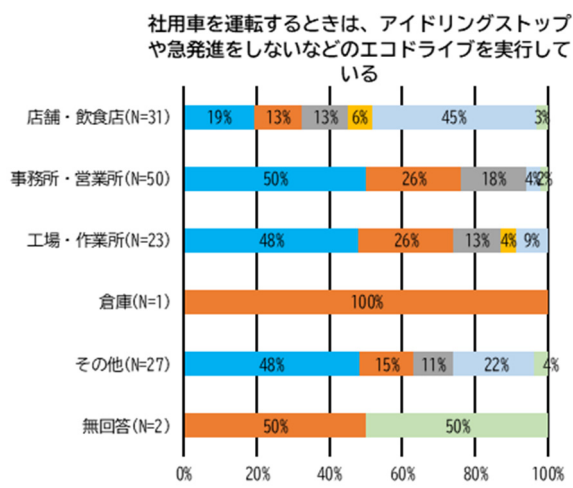


使い捨てプラスチック製品(ストロー、スプーンなど)や容器包装プラスチックの削減に取り組んでいる



- いつも行っている
- 時々行っている
- 行っていないが今後行いたい
- 行っていない・今後も行わない
- 該当しない
- 無回答

付図 3-8(6) 環境に配慮した行動(事業者/業務形態別)



付図 3-8(7) 環境に配慮した行動（事業者／業務形態別）

第1章

計画の基本的事項

第2章

尾道市の概況と排出量の現状

第3章

総排出量・吸収量の将来推計

第4章

排出量の削減目標

第5章

排出削減に関する取組

第6章

計画の推進及び進捗管理

資料編

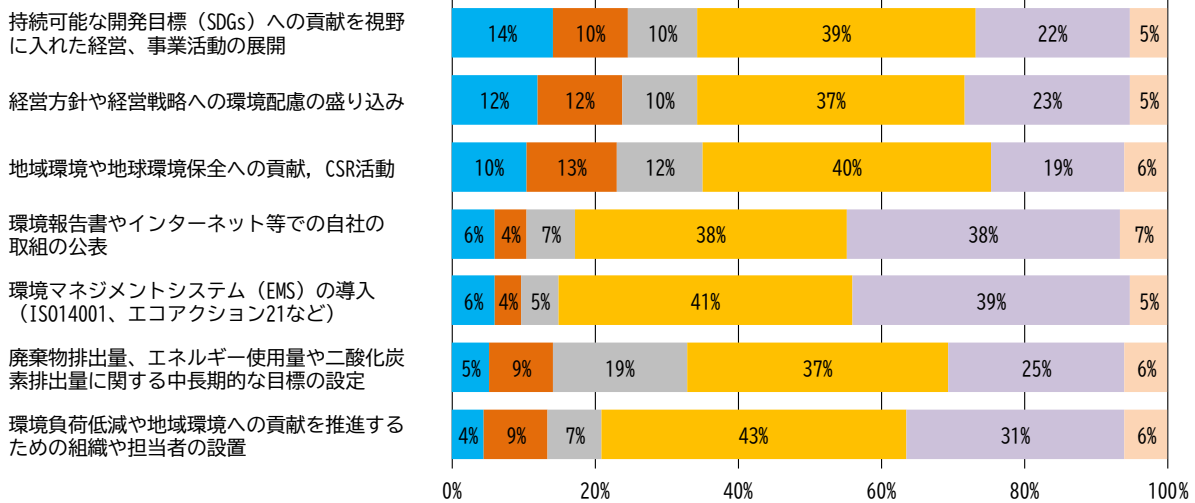
(アンケート調査) 環境意識調査

### 3-3 環境に配慮した経営等

問 貴事業所では以下の環境に配慮した経営等を実施していますか？各項目ごとに最も近いものを1つ選んでください。

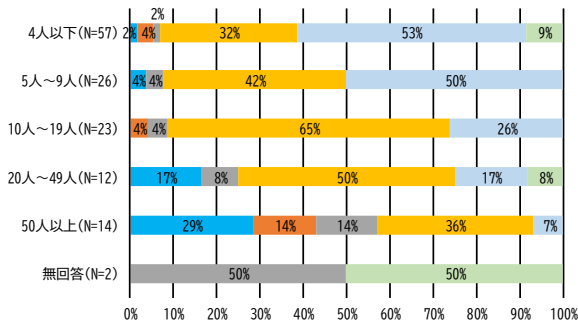
N=134

- 既に実施している
- 今後実施予定
- 考えてはいるが方法がわからない
- 必要だと思うが今は余裕がない
- 必要性を感じないため今後も実施しない
- 無回答

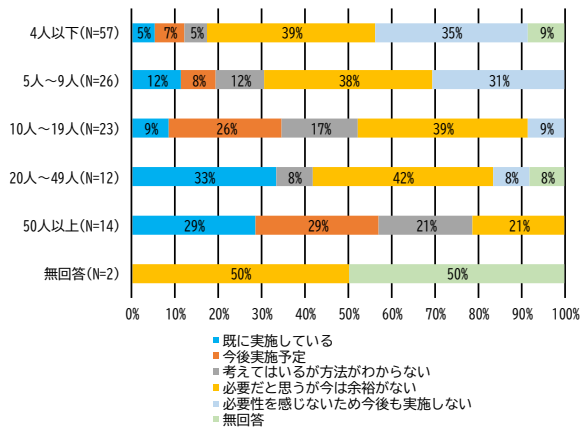


付図 3-9(1) 環境に配慮した経営等の実施状況（事業者／全体）

環境マネジメントシステム（EMS）の導入（ISO14001、エコアクション21など）

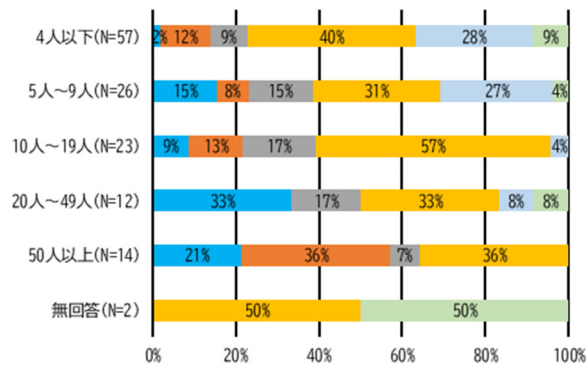
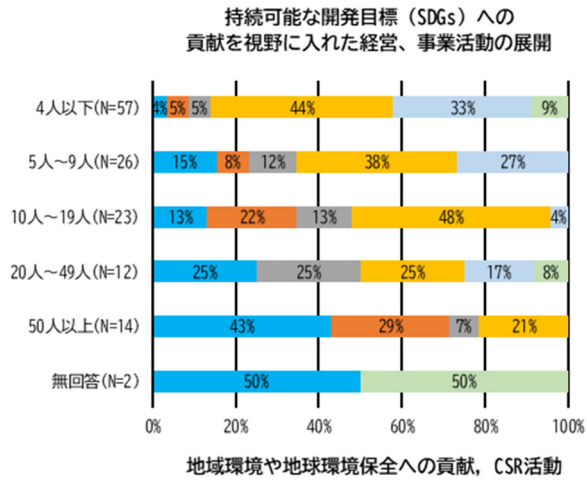


経営方針や経営戦略への環境配慮の盛り込み

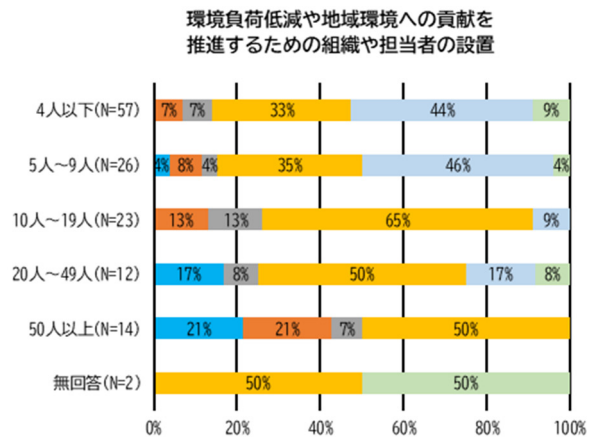
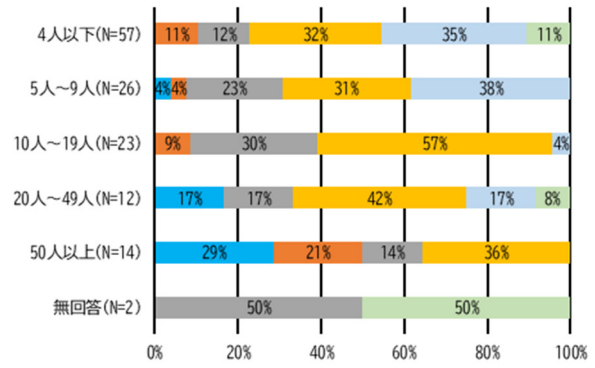


付図 3-9(2) 環境に配慮した経営等の実施状況（事業者／従業員数別）

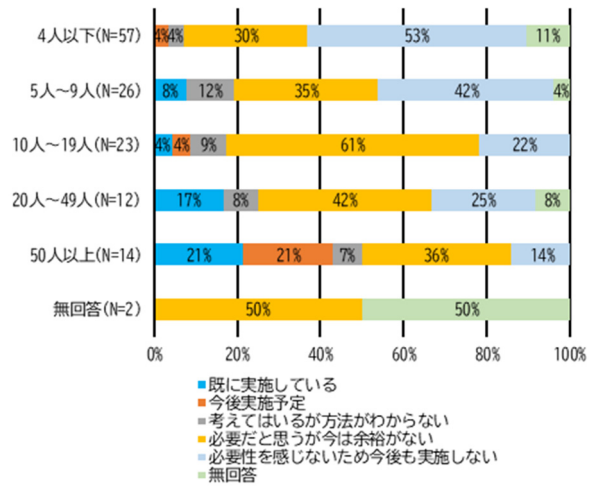




廃棄物排出量、エネルギー使用量や二酸化炭素排出量  
に関する中長期的な目標の設定



環境報告書やインターネット等での自社の取組の公表



付図 3-9(3) 環境に配慮した経営等の実施状況（事業者／従業員数別）

第1章 計画の基本的事項

第2章 尾道市の概況と排出量の現状

第3章 総排出量・吸収量の将来推計

第4章 排出量の削減目標

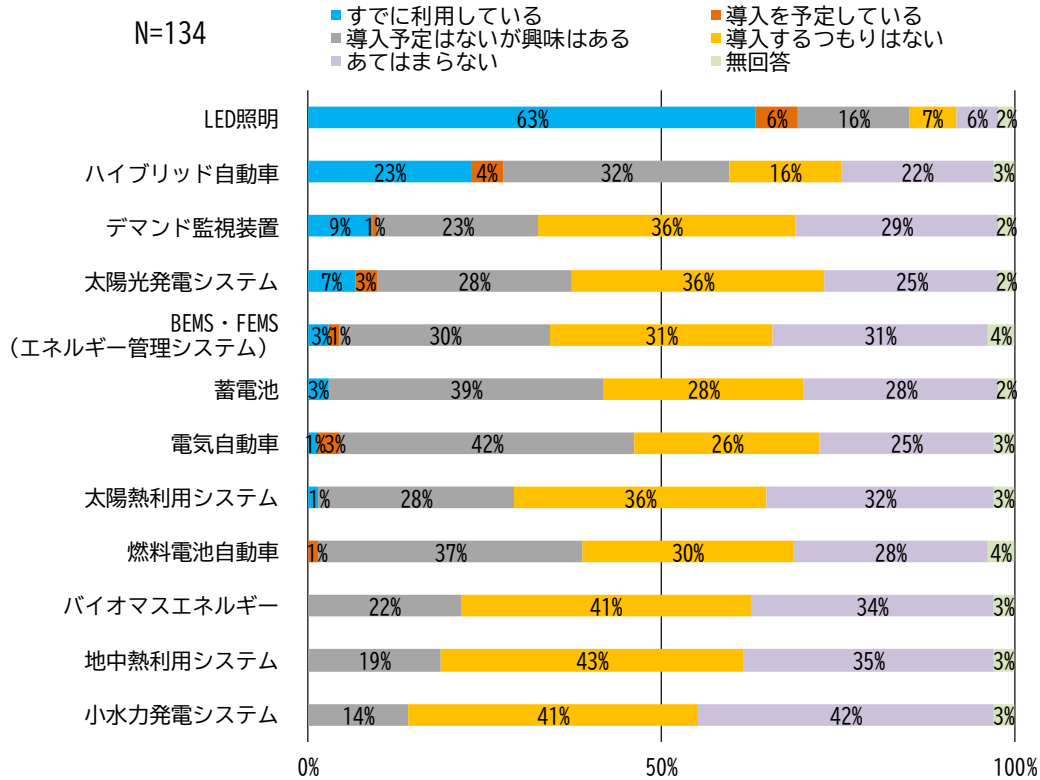
第5章 排出削減に関する取組

第6章 計画の進捗及び進捗管理

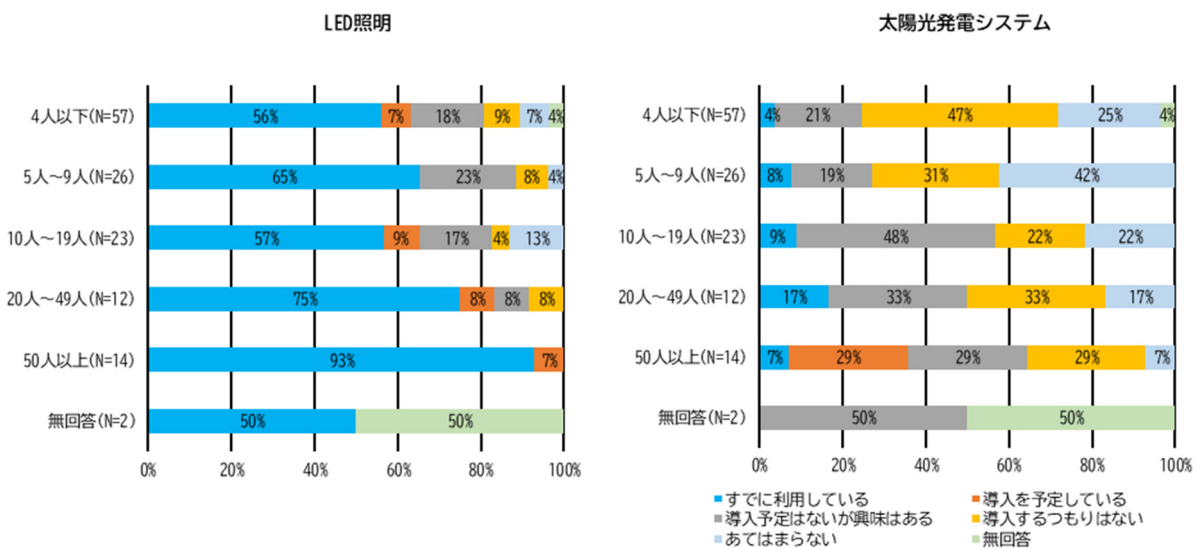
資料編 (アンケート調査) 環境意識調査

### 3-4 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況

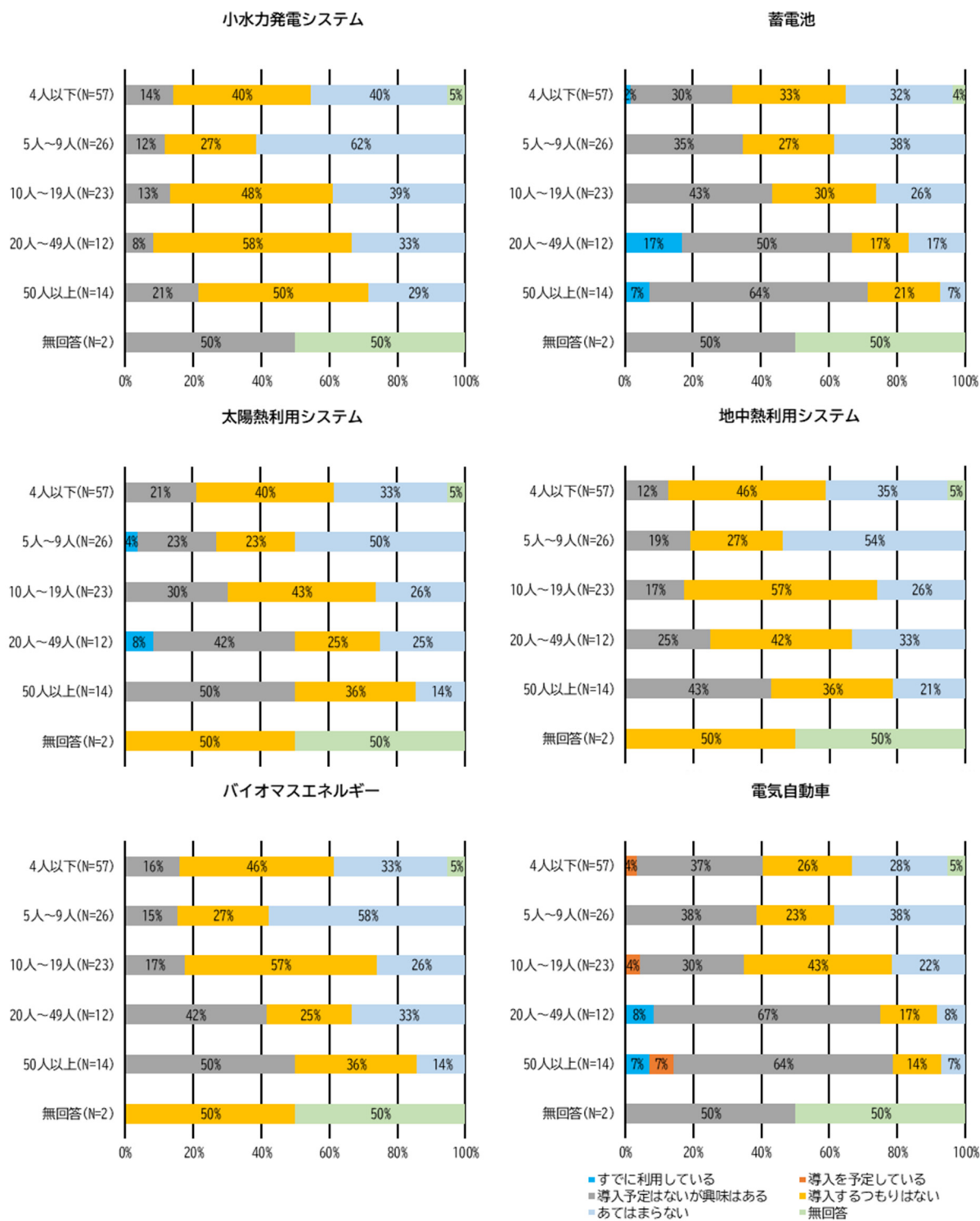
問 貴事業所では、省エネルギーや再生可能エネルギーに関連する機器を使用していますか？各機器ごとに最も近いものを1つ選択してください。



付図 3-10(1) 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況（事業者／全体）



付図 3-10(2) 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況（事業者／従業員数別）



付図 3-10(3) 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況（事業者／従業員数別）

第1章 計画の基本的事項

第2章 尾道市の概況と排出量の現状

第3章 総排出量・吸収量の将来推計

第4章 排出量の削減目標

第5章 排出削減に関する取組

第6章 計画の推進及び進捗管理

資料編 (アンケート調査) 環境意識調査

第1章 計画の基本的事項

第2章 尾道市の概況と排出量の現状

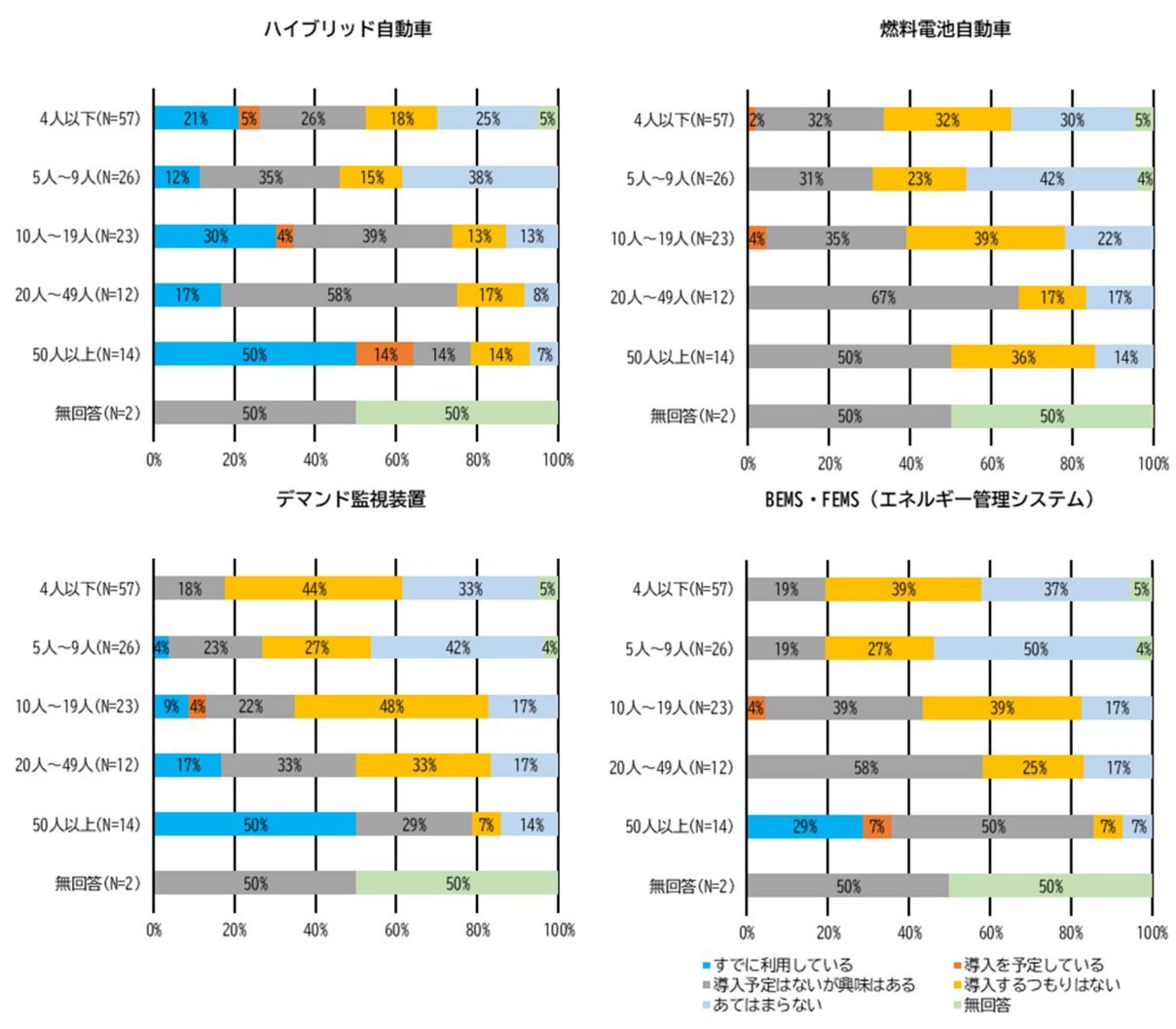
第3章 総排出量・吸収量の将来推計

第4章 排出量の削減目標

第5章 排出削減に関する取組

第6章 計画の推進及び進捗管理

資料編 (アンケート調査) 環境意識調査



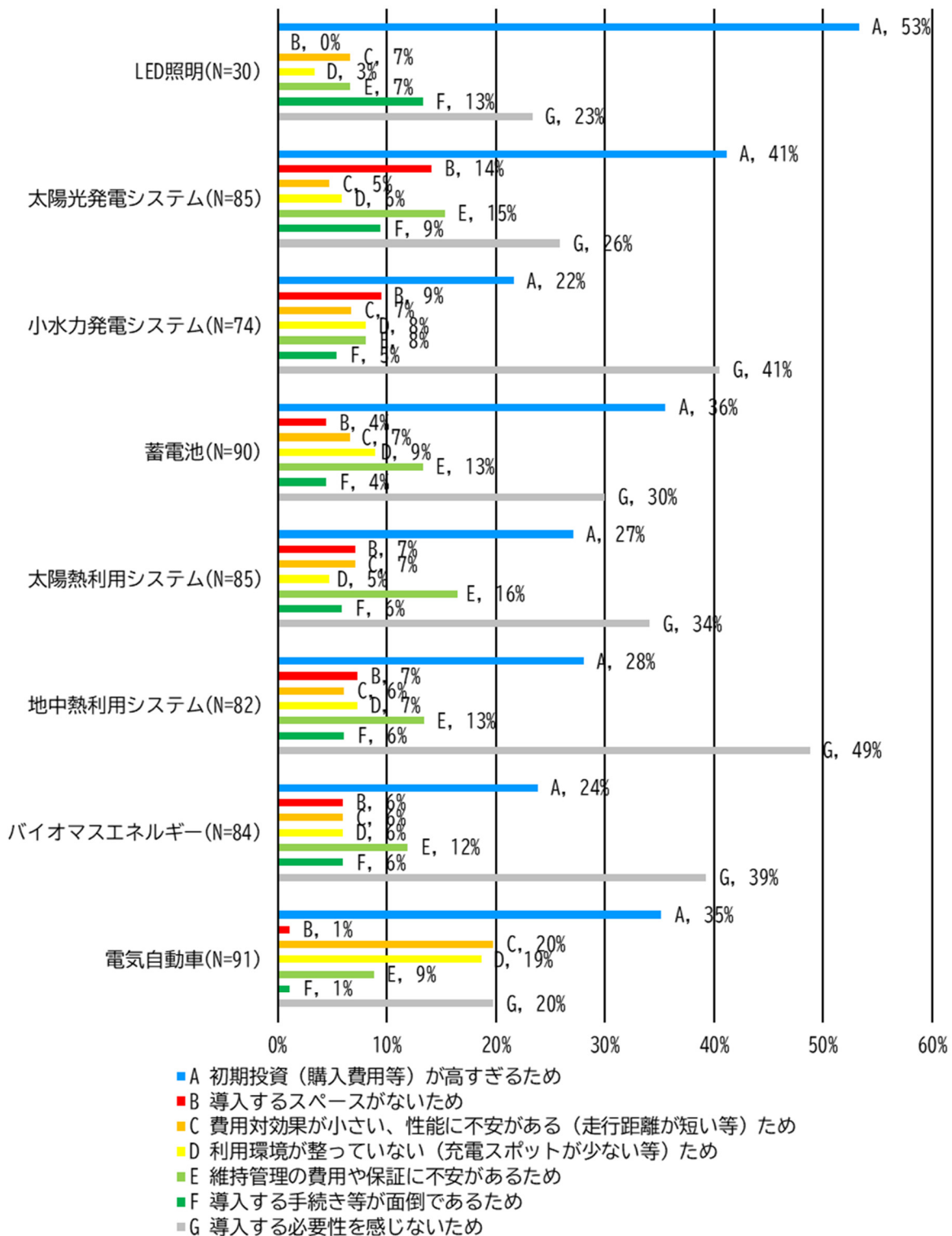
付図 3-10(4) 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況 (事業者/従業員数別)

問 先ほどの問で選択した、「すでに利用している」または「導入を予定している」機器の出力・容量等をわかる範囲で記入してください。

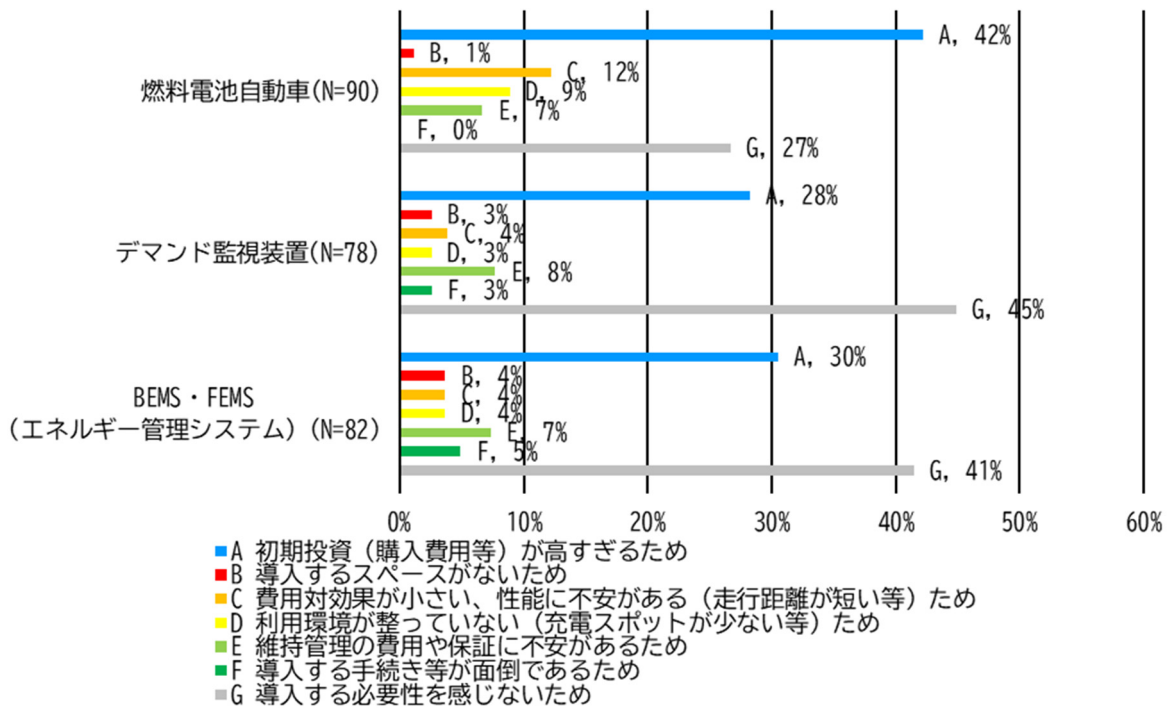
付表 3-1 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する機器の利用状況

|     | LED 照明の<br>使用率<br>(N=67) | 蓄電池の<br>容量<br>(N=2) | 電気<br>自動車の<br>所有数<br>(N=4) | ハイブリッド<br>自動車の<br>所有数<br>(N=31) | 燃料電池<br>自動車の<br>所有数<br>(N=1) |
|-----|--------------------------|---------------------|----------------------------|---------------------------------|------------------------------|
| 平均値 | 照明の約 66%                 | 20kWh               | 1 台                        | 2 台                             | 1 台                          |
| 最小値 | 照明の約 5%                  | 20kWh               | 1 台                        | 1 台                             | 1 台                          |
| 最大値 | 照明の約 100%                | 20kWh               | 1 台                        | 10 台                            | 1 台                          |

問 先ほどの問で選択した、「導入予定はないが興味はある」または「導入するつもりはない」と回答された方に質問です。各機器について、その理由として当てはまるものをいくつかも選んでください。



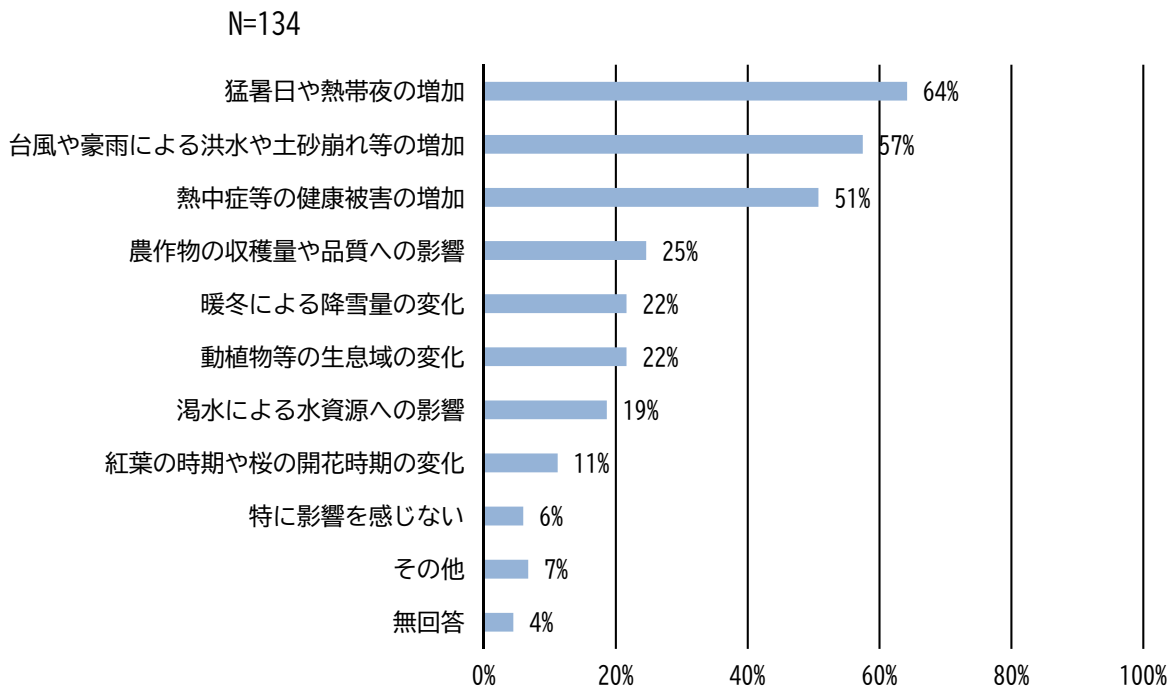
付図 3-11(1) 省エネ機器・再エネ機器の導入をしない理由（事業者／機器種別）



付図 3-11(2) 省エネ機器・再エネ機器の導入をしない理由(事業者/機器種別)

3-5 気候変動やその影響として感じているもの

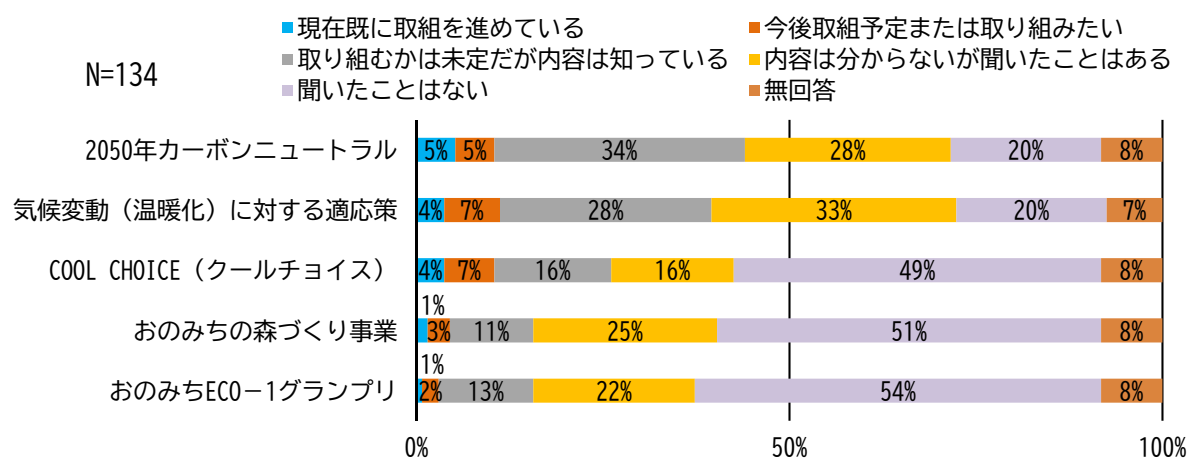
問 現在、温室効果ガスの増加にともなう気候変動(地球温暖化や降雨パターンの変化等)により、様々な影響が出てきています。貴事業所で、気候変動やその影響として感じているものは何ですか?あてはまるものをすべて選択してください。



付図 3-12 気候変動やその影響として感じているもの(事業者/全体)

### 3-6 環境に係る取組や事業について

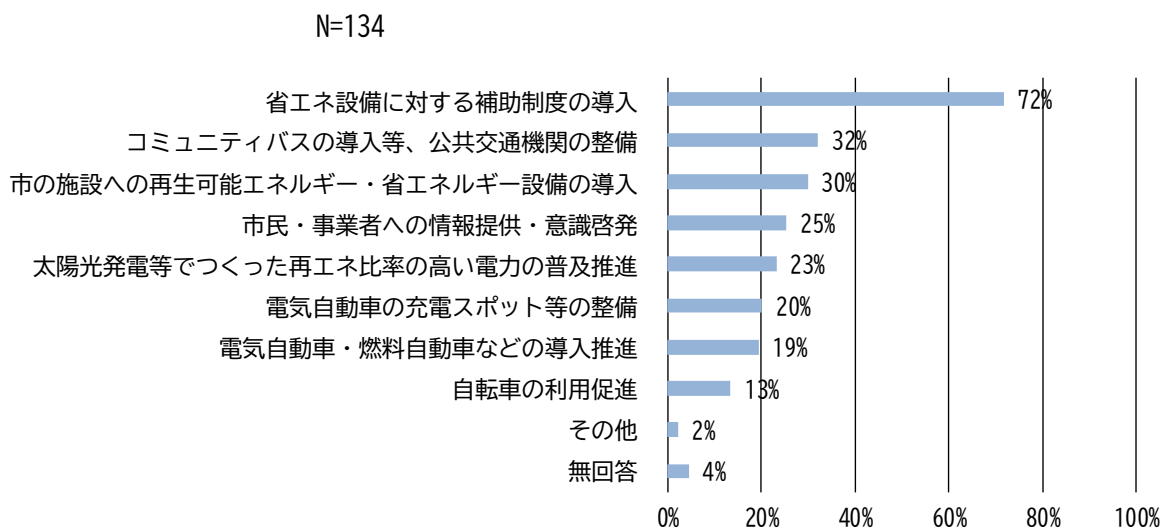
問 近年、尾道市や日本を取り巻く環境情勢は大きく変化しています。以下に示す環境に係る取組や事業について、貴事業所の取組状況に最も近いものをそれぞれ1つ選択してください。



付図 3-13 環境に係る取組や事業について (事業者/全体)

### 3-7 尾道市の地球温暖化対策について期待すること、重要だと思うこと

問 尾道市の地球温暖化対策に対して、貴事業所が期待すること、重要だと思うことは何ですか？あてはまるものを最大3つ選択してください。



付図 3-14 尾道市の地球温暖化対策に対して期待すること、重要だと思うこと (事業者/全体)

## あ行

### ■ エコアクション 21

環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム。事業者の環境への取組を促進するとともに、その取組を効果的・効率的に実施するため、国際標準化機構の ISO14001 規格を参考としつつ、中小事業者にとっても取り組みやすい環境経営システムのあり方を規定している。また、この環境経営システムを構築、運用、維持することにより、環境への取組の推進だけでなく、経費の削減や生産性・歩留まりの向上など、経営面でも効果が期待される。

### ■ エコドライブ

燃料消費量や二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる「運転技術」や「心がけ」を指す。「COOL CHOICE」の一環として環境省が推奨しており、取組を 10 種類にまとめた「エコドライブ 10 のすすめ」や、「エコドライブ実践ツール」などが公表されている。

### ■ エネルギー起源 CO<sub>2</sub>

石炭や石油などの化石燃料を燃焼してつくられたエネルギーを、産業、家庭、運輸などで利用・消費することにより発生する二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を指す。

### ■ エネルギー消費原単位

エネルギー使用量を、エネルギー使用量と密接な関係を持つ値（延床面積や製造品出荷額など）で割った値。単位量の活動を行うのに必要なエネルギー使用量にあたり、エネルギー使用の効率性を表す。

### ■ 温室効果ガス

大気中の二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) やメタン (CH<sub>4</sub>) などの太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあるガスのこと。地球温暖化対策推進法（温対法）では、二酸化炭素、メタンのほかに、一酸化二窒素 (N<sub>2</sub>O)、ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)、パーフルオロカーボン類 (PFCs)、六ふっ化硫黄 (SF<sub>6</sub>)、三ふっ化窒素 (NF<sub>3</sub>) の 7 種類を温室効果ガスとして規定している。各部門・分野の温室効果ガス排出量を合計した「温室効果ガス総排出量」に対し、そこから森林等による二酸化炭素吸収量を差し引いたものを「温室効果ガス実質排出量」と呼ぶ。

## か行

### ■ カーボンオフセット

日常生活や経済活動において避けることができない二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) をはじめとする温室効果ガスの排出について、出来るだけ排出量が減るように削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資することなどにより、排出される温室効果ガスの全部または一部を埋め合わせするという考え方を指す。



## ■ カーボンクレジット

企業や自治体などが、環境改善に貢献することで削減した二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）などの温室効果ガスの効果（削減量、吸収量）をクレジット（排出権）として発行し、他の企業や自治体と取引できるようにする仕組みを指す。

## ■ カーボンサイクル

地球上の生態系における炭素の流れであり自然界における海洋や大気、森林などにおける炭素の貯蔵や交換、循環に関するサイクルを指す。

## ■ カーボンニュートラル

二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）をはじめとする温室効果ガスの排出量と、植林や森林管理などによる温室効果ガスの吸収量とを均衡させる（合計を実質的にゼロにする）こと。

## ■ カーボンリサイクル

二酸化炭素を炭素資源として捉え、これを回収し、多様な炭素化合物として再利用すること。国において、広島県の大崎上島をカーボンリサイクル実証研究拠点とするための整備事業が進められている。

## ■ 海洋プラスチック

プラスチックごみが回収されずに河川などを通じて海に流れ込んだもの。世界全体で年間数百万トン、日本だけでも年間2～6万トンが流出していると推計されている。

## ■ 環境マネジメントシステム

組織や事業者が運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいく「環境マネジメント」の体制・手続きなどの仕組み。環境省が策定した「エコアクション21」や国際規格の「ISO14001」などがある。

## ■ 気候変動に関する国際連合枠組条約（国連気候変動枠組条約）

大気中の温室効果ガスの濃度を気候体系に危害を及ぼさない水準で安定させることを目的とした条約。1992（平成4）年5月採択、1994（平成6）年3月に発効し、1995（平成7）年以降、本条約に基づき、気候変動枠組条約締約国会議（COP）が開催されている。

## ■ 気候変動に関する政府間パネル（IPCC）

気候変動に関する政府間パネル(Intergovernmental Panel on Climate Change)を略してIPCCとも呼ばれる。1988（平成10）年にWMO（世界気象機関）とUNEP（国連環境計画）のもとに設立された政府間機関。気候変化に関する最新の科学的知見（出版された文献）についてとりまとめた報告書を作成し、各国政府の地球温暖化防止政策に科学的な基礎を与えることを目的としている。

### 第1章

計画の基本的事項

### 第2章

尾道市の概況と排出量の現状

### 第3章

総排出量・吸収量の将来推計

### 第4章

排出量の削減目標

### 第5章

排出削減に関する取組

### 第6章

計画の推進及び進捗管理

### 資料編

用語集

## ■ 国連気候変動枠組条約締約国会議（COP）

気候変動に関する国際連合枠組条約の締約国による会議。1995（平成 7）年にドイツのベルリンで第 1 回締約国会議（COP1）が開催されて以来、概ね毎年開催されている。COP（コップ）は Conference of Parties の略。

## さ行

### ■ 再エネ 100 宣言 RE Action

企業、自治体、教育機関、医療機関などの団体が使用電力を 100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再生可能エネルギー100%利用を促進する新たな枠組み。令和 5 年 6 月時点で 321 団体が参加している。

### ■ 再生可能エネルギー ※ p. 62 にコラム有

化石燃料のように使えば減って枯渇するエネルギーに対し、自然界に存続する永続的に利用できるエネルギー源のことであり、温室効果ガスを排出しないという特徴がある。具体的には、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマスなどを指す。

### ■ 次世代自動車 ※ p. 58 にコラム有

「低炭素社会づくり行動計画」（平成 20（2008）年 7 月閣議決定）において、ハイブリッド自動車（HV）、電気自動車（EV）、プラグイン・ハイブリッド自動車（PHV）、燃料電池自動車（FCV）、グリーンディーゼル自動車（CDV）、CNG（圧縮天然ガス）自動車等と定義されている。二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出削減や非化石エネルギー源の利用を進めるうえで有効とされている。

### ■ 省エネルギー診断 ※ p. 57 にコラム有

専門家であるエネルギー管理士が実際に現場を調査してその利用エネルギーの現状を診断し、最適な稼働方法や最新機器への更新などの具体的なアドバイスを受けることができるサービス。

近年では、「省エネ診断」による使用エネルギー削減に加え、「再エネ提案」を組み合わせることで脱炭素化を加速する「省エネ最適化診断」が新しくスタートしている。

### ■ 食品ロス

本来食べられるのに廃棄されてしまう食品を指し、日本全体で年間 522 万 t（≒東京ドーム約 4 杯分）、国民 1 人当たりでは 1 日約 113g（≒茶碗 1 杯分のご飯）、年間で約 41kg（≒年間 1 人当たりの米の消費量）とされている。食品の生産や製造段階では規格外品や余剰生産など、流通段階では期限切れや売れ残り、汚損など、消費段階では過剰除去や食べ残し、期限切れなど、食品に関わるあらゆる段階で発生する。

## た行

### ■ 蓄電池

二次電池とも呼ばれ、繰り返し充電して使用できる電池のこと。スマートフォンのバッテリーなどに使われているほか、近年は再生可能エネルギー発電設備と併用し、発電した電力を溜める蓄電池が普及している。

### ■ (エネルギーの) 地産地消

地域の特徴にあった再生可能エネルギーやコージェネレーションなどにより電力を供給し、地域において消費すること。エネルギー供給のリスク分散や、再生可能エネルギーの導入による温室効果ガスの排出削減効果がある。

### ■ 電力排出係数

電力供給量 1kWh あたりの二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量。電気事業者が小売りした電気などの発電に伴い排出した二酸化炭素排出量 (実排出量) である「実排出係数」と、実排出量から京都メカニズムクレジット・国内認証排出削減量などを差し引いた調整後排出量を販売した電力量で除した「調整後排出係数」の2種類がある。

### ■ 適応策 ※ p. 67 にコラム有

既に現れている、あるいは、中長期的に避けられない地球温暖化の影響に対して、自然や人間社会の在り方を調整し、被害を最小限に食い止めるための取組。

## は行

### ■ バイオマス

生物資源 (bio) の量 (mass) を表す概念で、再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの。太陽エネルギーを使い、水と二酸化炭素から生物が光合成によって生成した有機物であり、持続的に再生可能な資源である。

### ■ 非エネルギー起源 CO<sub>2</sub>

工業プロセスにおける化学反応で発生・排出される二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) や廃棄物の焼却などで発生・排出される温室効果ガス二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を指す。

### ■ ブルーカーボン

2009 (平成 21) 年 10 月に、国連環境計画 (UNEP) の報告書において命名された、藻場や浅場などの海洋生態系に取り込まれた炭素のことで、吸収源対策の新しい選択肢として提示された。ブルーカーボンを隔離・貯留する海洋生態系として、海草藻場、海藻藻場、湿地・干潟、マングローブ林が挙げられ、これらは「ブルーカーボン生態系」と呼ばれる。

## 第1章

計画の基本的事項

## 第2章

尾道市の概況と排出量の現状

## 第3章

総排出量・吸収量の将来推計

## 第4章

排出量の削減目標

## 第5章

排出削減に関する取組

## 第6章

計画の推進及び進捗管理

## 資料編

用語集

## ■ フロン類

フルオロカーボン（フッ素と炭素の化合物）の総称。エアコン、冷蔵・冷凍庫の冷媒や建物の断熱材、スプレーの噴射剤などに使用されてきたが、オゾン層の破壊や地球温暖化への影響があるため、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」（平成13年法律第64号。いわゆるフロン排出抑制法）により対策を進めている。特定フロン（CFC：クロロフルオロカーボン、HCFC：ハイドロクロロフルオロカーボン）、代替フロン（HFC：ハイドロフルオロカーボン）を「フロン類」と呼ぶ。

## ま行

### ■ 藻場

主に温帯・熱帯の静穏な砂浜、干潟の沖合の潮下帯に分布するアマモやスガモ等からなる海草（うみくさ）藻場や、寒帯・沿岸域の潮間帯から水深数十メートルの岩礁海岸に分布するコンブやワカメからなる海藻（うみも）藻場があり、二酸化炭素を吸収・固定し、地球温暖化の影響を緩和する場として期待される。

### ■ モビリティ・マネジメント

環境や健康に配慮し、過度に自動車に頼る状態から公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしこく）利用する状態へと転換することを促す取組。一人ひとりのモビリティ（移動）が、個人的にも社会的にも望ましい方向へ自発的に変化することを促す、コミュニケーション施策を中心とした交通政策。

## や行

### ■ 4R（よんアール、フォーアール）

ごみを減らすための3つの取組である、ごみの発生を抑える「リデュース（Reduce）」、繰り返し使用する「リユース（Reuse）」、資源として再生利用する「リサイクル（Recycle）」に、ごみとなる不要なものを買わないように断る「リフューズ（Refuse）」を加えた四つの頭文字をとった言葉を指す。

## アルファベット A～Z

### ■ BEMS（ベムス）

ビル・エネルギー管理システム（Building and Energy Management System）を略したもの。ITを利用して業務用ビルの照明や空調などを制御し、室内環境とエネルギー性能の最適化を図るためのビル管理システムを指す。

### ■ COOL CHOICE（クールチョイス）

二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品の買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中で、あらゆる「賢い選択」をしていこうという取組。

## ■ ESCO（エスコ）事業 ※ p.57 にコラム有

ESCO（Energy Service Company）事業者のサービスを利用することで、省エネ改修にかかる全ての経費（建設費、金利、ESCO事業者の経費）を、その改修で得られる光熱水費の削減分で賄うことができる事業。新たな負担なく省エネ改修等を実施することができ、その省エネ効果はESCO事業者が計測・検証、保証するとともに、省エネに係る包括的なサービスを受けることができる。

## ■ FEMS（フェムス）

工場エネルギー管理システム（Factory Energy Management System）を略したもの。工場全体のエネルギー消費を削減するため、受配電設備のエネルギー管理や、生産設備などのエネルギー使用、稼働状況を把握し、見える化や各種機器を制御するためのシステムを指す。

## ■ HEMS（ヘムス）

家庭用エネルギー管理システム（Home Energy Management System）を略したもの。家庭内で多くのエネルギーを消費するエアコンや給湯器や、照明や情報家電まで含め、エネルギー消費量を可視化しつつ積極的な制御を行うことで、省エネやピークカットの効果を狙う仕組み。

## ■ MaaS（マース）

Mobility as a Service の略。出発地から目的地まで、複数の公共交通機関・移動手段の中から、利用者にとって最適な組み合わせを提示し、一括して検索・予約・決済などが出来る移動サービスのこと。

## ■ PPA（ピーピーイー）

「Power Purchase Agreement（電力購入契約）」の呼称であり、設備設置事業者が施設に太陽光発電システムを設置し、施設側は設置された設備で発電した電気を購入する契約。屋根貸し自家消費型モデルや第三者所有モデルとも呼ばれており、施設側は設備を所有しないため、初期費用の負担や設備の維持管理をすることなく、再生可能エネルギーの電気を使用することができる。

## ■ RE（アールイー）100

「Renewable Energy 100%」を略したもの。事業活動で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーで調達することを目標とする国際的イニシアチブであり、日本では令和5年6月時点で80社が参加している。